

# 結果報告書

## *Breakthrough FOOMA*

世界最大級の食品製造総合展

**FOOMA**  
**JAPAN** FOOD PROCESSING  
TECHNOLOGY EXPO

**2024**  
**6/4** 火 **7** 金

東京ビッグサイト  
東1～8ホール

10:00  
17:00

主催：一般社団法人 日本食品機械工業会 後援：経済産業省／農林水産省／厚生労働省／東京都／日本貿易振興機構(順不同)

# FOOMA JAPAN 2024 REPORT



# ご挨拶

「FOOMA JAPAN 2024」は、“Breakthrough FOOMA”をテーマに、2024年6月4日(火)から7日(金)までの4日間、「東京ビッグサイト」にて開催いたしました。47回目を迎えた今回は、過去最多となる989社にご出展いただき、ご来場者が過去最多に並ぶ113,777人に達するとともに、海外からの来場者も過去最多の5,541人を数え、日本の食品製造機械の海外市場進出を後押しすることにもつながるなどダントツの成果を獲得した展示会となりました。FOOMA JAPAN 2024を無事成功裡に導けたことは、僭越ながら食品産業全体のさらなる発展に寄与できたものと自負しております。これもひとえに、ご出展いただいた各社、並びに関係各位の熱意・ご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

食品製造に関するあらゆるソリューションが揃う食品製造総合展、それがFOOMA JAPANです。規模と多様性でFOOMA JAPANが来場者から選ばれる展示会として、開催テーマであるBreakthrough FOOMAにふさわしく、実力と価値でダントツの展示会となったことと確信しております。

つきましては、ここに「FOOMA JAPAN 2024 結果報告書」を作成いたしましたのでご高覧ください。

次回「FOOMA JAPAN 2025」は、世界一の食品製造総合展への真価をさらに究めるべく、成長を続ける展示会として食品産業界の発展に寄与する提案を引き続き行ってまいります。

ご期待いただくとともに、変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

FOOMA JAPAN 2024 展示会実行委員会  
委員長 南 常 之

## 目次

1. ダントツの4日間 Breakthrough FOOMA	1
スタートアップゾーン/フードテックセッション「日本発のフードテックを世界に～食の最前線・食産業のグローバル化～」	2
第3回FOOMAアワード2024	3
来場者参加型企画 食品製造ライン自動化推進プロジェクト2022 to 2024～問題の整理から解決までの取り組み～/ FOOMA IDリーダー&来場者マイページ/食品製造自動化相談サービス FOOD TOWN/FOOMAアプリ/ SDGsへの取り組み	4
2. 実施概要	5
3. 展示規模と出展分野	6
4. 来場者分析	7
5. セミナー・シンポジウム・併催行事	
EHEDGセミナー/農林水産省セミナー/海外市場セミナー/日本食品工学会フォーラム2024	9
美味技術学会シンポジウム/農業食料工学会シンポジウム フードテクノロジー(フードテック)フォーラム/農業施設学会シンポジウム	10
FOOMAビジネスフォーラム/機関誌「ふーま」連載企画 テーブルトーク公開取材/学生対象 YO-CO-SO(ようこそ)FOOMA	11
安全衛生設計コーナー/経営支援・輸出相談コーナー(支援施策の紹介)/農林水産省コーナー「食品産業のスマート化の推進」(生産性向上と食品の安全) /FOOMA東京バル/みんなで応援! にっぽんの食 北陸の食応援コーナー・令和6年能登半島地震に係る災害義援金募金箱の設置	12
アカデミックプラザ2024	13
出展社プレゼンテーションセミナー	15
開会式/開催レセプション/ご来賓の視察	16
6. 来場者サービスと災害時への備え	17
7. FOOMA IDリーダー	17
8. 出展社アンケート調査結果	18
9. 来場者アンケート調査結果	20
10. プロモーション活動	23
11. 出展社一覧	25
12. 会場全体図	27

# ダントツの4日間 Breakthrough FOOMA

出展社は過去最多

## 989社

食品製造プロセスにおける5,000を超えるソリューションが勢揃いした。

来場者は過去最多に並ぶ

## 113,777人

会期中は来場価値に期待する人々で、連日満員の大盛況。前回は約7,700人上回る来場者を迎えた。

海外からの来場者も過去最多

## 5,541人

日本の食品機械が一堂に集結する唯一の展示会として、世界中が注目。

近未来テクノロジーを提案

## 30社の スタートアップ

スタートアップゾーンには新たなイノベーター15社を加え全30社のフロントランナー達が参加。

最高峰のテクノロジー

## 第3回 FOOMAアワード

最優秀賞1製品、優秀賞5製品、審査委員会賞8製品が受賞。

日本発のフードテックを世界へ

## フードテックセッション

最新のフードテック世界動向、日本の世界的フードテック企業による討論、そして日本発のフードテックを世界へ発信することを宣言。

農林水産省と連携した新企画!

## 農林水産省セミナー

ロボット・ITを活用した生産性向上実証実験の報告や、ロボット導入時の衛生管理ガイドラインなどを紹介。

## 海外市場セミナー

日本の食産業の輸出拡大戦略として輸出重点品目や輸出関連具体的施策を紹介。

来場者参加型の  
3カ年プロジェクト!

## 食品製造ライン 自動化プログラム

3カ年討論という一大プロジェクトの最終年。アーカイブ聴講を含め参加者は毎年1,000名に迫る人気。

公式WEBサイトの充実で  
アクセス数も増加

## 883,219件

製品動画を充実。日英中の多言語化で、海外からのアクセスも増加。

### 最高の展示会体験を提供。FOOMA JAPAN DX

出展社と来場者のつながりを生む

## FOOMA IDリーダー & 来場者マイページ

リアルとオンラインをシームレスにつなげ、出展社とのコンタクト履歴や興味ある製品情報を閲覧し保存できるメリットが来場者に好評。

一人一人の手のひらにFOOMAを

## FOOMAアプリ

訪問したいブースを見逃さない来場時の必携アプリとして、いつでもFOOMA JAPANにアクセスできるダントツツールとなった。

ビジネスマッチングプラットフォーム

## 食品製造自動化相談サービス FOOD TOWN

会場でのリアル相談コーナーを新設。WEBでは新機能のAI検索も人気で出展社と来場者の出会いを創出した。

YouTubeチャンネル

## FOOMA JAPAN ch. 開設

製品動画や記者発表会、会期中の毎日の様子や展示製品を公開。視聴数は53万回を超える。

人と人、人と地域の交流プログラム!

## FOOMA東京バル

開催地の地元江東区の人気店や世界の食を提供するキッチンカーが並び、食を通じた交流広場を開設。江東区内障害者通所施設自主生産品売店へも参加しお菓子や軽食を販売。

みんなで応援! にっぽんの食

## 北陸の食 応援コーナー

「北陸の食マルシェ」では北陸の食文化の紹介や北陸の味覚、お弁当を販売。「知ってください! 北陸4県の食品産業のいま!」と題したコーナーも開設。展示会場内では募金活動も実施。

## スタートアップゾーン



3年目を迎えたスタートアップゾーンには30社が出展し、そのうち新規インベーターは15社を数えた。今回もAI・IT・ロボティクス・フードテック・SDGsなど食品産業の近未来テクノロジーと出会える展示ゾーンには連日多数の来場者が詰め掛け、計26社のピッチプレゼンに耳を傾けた。

会場 東7ホール

### スタートアップゾーン出展社

ARK	CAN EAT	DATAFLUCT
IoT mobile	クオックロップ	Byte Bites
ASTRA FOOD PLAN	KOSKA	フツパー
Anamorphosis Networks	コル	フレンドマイクロブ
アラリード	Sydecas	ボールウェーブ
AlgaleX	Thinker	ユニバーサル・フードマシン
ukka	鈴与ソリューションズ	Regnio
H.Eファーム	スパイスキューブ	リモートロボティクス
MMP	スマシヨク	レグミン
カンブライト	ゼロイチゼロ	LOZI

## スタートアップゾーン ピッチプレゼン タイムスケジュール

6/4 (火)	11:10~11:30	ロボットの"リモート操作"で自動化を超える設備導入 リモートロボティクス
	11:50~12:10	伝統素材で新しい食の「カタチ」をつくるNinjaFoods Sydecas
	13:00~13:20	3つのSDGs:食用油の寿命3倍、燃費3割向上、便秘9割解消 MMP
	13:40~14:00	アレルギー対応から始まる食のパーソナライゼーションサービス CAN EAT
	14:20~14:40	食品製造業ERPシステム・生産管理システム導入による業務革新 鈴与ソリューションズ
15:00~15:20	急速冷凍機で、「食品ロス」や「人手不足」等をやっつけろ! ゼロイチゼロ	
6/5 (水)	10:30~10:50	生産性向上の新常識! センサと録画で現場の改善を自動化 KOSKA
	11:10~11:30	小袋投入工程の「完全自動化」を目指して ユニバーサル・フードマシン
	11:50~12:10	美味しさで、海を未来へ繋ぐ! 泡盛粕生まれのうま味「うま藻」 AlgaleX
	13:00~13:20	脱炭素だけじゃない食品エコ指標~あなたの商品に更なる魅力を~ クオックロップ
	13:40~14:00	食の信頼をブランド化する 次世代のトレーサビリティシステム カンブライト
14:20~14:40	名古屋大学で開発した微生物を用いた排水中の動植物油分解技術 フレンドマイクロブ	
15:00~15:20	人手不足解消・品質改善にも繋がる外観検査AIソリューション フツパー	
6/6 (木)	10:30~10:50	検査に関わる方必見! X線画像×AI検査自動化のポイント Anamorphosis Networks
	11:10~11:30	脱炭素農産物で、世界的食糧安全保障と持続可能な社会を実現する H.Eファーム
	11:50~12:10	AI生産管理 RegnioFactoryで挑む工場DX Regnio
	13:00~13:20	4,200社以上が導入! 「食品表示・規格書」のDX スマシヨク
	13:40~14:00	月額350円の温度管理システム「温度っち」の魅力! IoT mobile
14:20~14:40	世界中どこでも農業を実現する スパイスキューブ	
15:00~15:20	食品乾燥・殺菌装置「過熱蒸煎機」でかくれフードロスを削減 ASTRA FOOD PLAN	
6/7 (金)	10:30~10:50	近接覚センサーがロボットの「つかむ」を進化させる Thinker
	11:10~11:30	フードバリューチェーンを可視化するSmartBarcode LOZI
	11:50~12:10	マイクロアクアカルチャーで実現する陸上養殖事業化のすすめ ARK
	13:00~13:20	農業の生産性向上へ: 自律走行型ロボットと収穫後作業への応用 レグミン
	13:40~14:00	食品業界のSCMを変えるビッグデータ需要予測AI DATAFLUCT
14:20~14:40	3Dフードプリンタを用いた、柔軟な多品種製造システムの構築 Byte Bites	

## フードテックセッション

「日本発のフードテックを世界に~食の最前線・食産業のグローバル化~」

聴講者数  
**165名**



セッション1では「フードテック革命」の著者である田中宏隆氏が、広範囲なフードテック領域におけるフードイノベーション最前線をグローバルな視点で解説。セッション2では「日本の技術の優位性、市場開拓に対する覚悟・戦略・チャレンジ」を議論。日本企業がグローバル市場に進出するために何が必要かを議論したセッション3では、「日本の斜陽産業は世界の成長産業」など世界に通用する日本の食のアセットや本来価値を共有。食産業のグローバル化に対し、戦術例を挙げながら海外進出のスキーム等について討論した。

日時 6月4日(火) 13:30~16:00

会場 東1ホール入口セミナー会場



講師  
ナビゲーター

株式会社UnlocX 代表取締役CEO /  
SKS JAPAN Founder  
**田中 宏隆 氏**

13:30~14:15 **Session 1** フードテック~グローバル最先端トレンド  
株式会社UnlocX 代表取締役CEO / SKS JAPAN Founder **田中 宏隆 氏**

14:15~15:05 **Session 2** パネルディスカッション  
「日本発のフードテックを世界に!」



モデレーター

株式会社シグマクス プリンシパル  
**福世 明子 氏**

パネリスト

TECHMAGIC株式会社 代表取締役  
**白木 裕士 氏**  
株式会社フジワテクノアート 代表取締役副社長  
**藤原 加奈 氏**

15:05~15:45 **Session 3** トークセッション「FOOMA×SKS JAPAN  
~日本企業がグローバルにいくために必要なものは何か?」



モデレーター

株式会社シグマクス プリンシパル  
**福世 明子 氏**

パネリスト

SKS JAPAN Founder  
**田中 宏隆 氏**  
FOOMA JAPAN 2024 展示会実行委員長  
**南 常之 氏**

15:45~16:00 **Interactive Session**

# 第3回FOOMAアワード2024



食品機械産業の優れた技術研究・開発成果を顕彰する目的で2022年に創設。第3回の今回は28製品の応募があった。会期初日に審査員が最優秀賞ノミネート6製品の出展ブースで実機審査を行い、最優秀賞他各賞を発表した。ガレリアには最優秀賞ノミネート製品を紹介する展示コーナーを開設し、来場者の関心を引いていた。

**審査・発表** 最終審査 6月4日(火) / 表彰式 6月4日(火)

**会場** 東2ホール前 ガレリア

## 最優秀賞

**不二精機株式会社** 【製品名】パスタ供給装置(DHP)



## 優秀賞



**株式会社イシダ**  
マッチング計量機  
(GCW-V)



**株式会社品川工業所**  
真空フライヤー  
(VF/VFB-1~150)



**ツカサ工業株式会社**  
ディバイダースケール・  
ターミナル 着脱型  
(DSC-TDP-4-DE)



**株式会社日本キャリア工業**  
ミートパッカー KP-150



**ワタナベフーマック株式会社**  
ポーションカッター  
(WIX-S180GNS/  
WIX-S180G2S)

## 審査委員会賞

### 関東混合機工業株式会社

【製品名】除菌装置 【型式】ST-60

### ダイブレイク株式会社

【製品名】アートロックフリーザー 【型式】ART3 3.0

### 株式会社サタケ

【製品名】マルチバス リンスフリー プロセス 【型式】MPRP36A

### 株式会社フツパー

【製品名】製造業向け外観検査&品質管理AI「メキキバイト」

### 株式会社システムスクエア

【製品名】かみこみX線検査機 高速仕様 【型式】SXS2-1354HC1DT

### 株式会社堀場アドバンスドテクノ

【製品名】残留塩素濃度モニター 【型式】UP-400CL

### Daigasエネルギー株式会社

【製品名】D-Fire (IoTシステム)

### 株式会社マスタック

【製品名】トンネルオープンエコペイク 【型式】STO-9009GV1

# 来場者参加型企画 食品製造ライン自動化推進プロジェクト2022 to 2024 ～問題の整理から解決までの取り組み～

アーカイブセミナー  
聴講登録者数

768名

聴講者数

128名



モデレーター

立命館大学 グローバルイノベーション研究機構  
特別招聘研究教授/株式会社チトセロボティクス 副社長  
**川村 貞夫氏**

パネリスト

株式会社Mizkan Holdings サプライチェーン本部 部長  
**小杉 和寛氏**

食品製造ライン自動化推進プロジェクトチーム  
株式会社富士製作所  
安部 武男氏  
株式会社マスタック  
川瀬 輝雄氏  
株式会社イズミフードマシナリ  
杉船 大亮氏

3カ年計画でゴールを目指し「近未来の食品製造ラインを提供する」食品製造ライン自動化推進プロジェクト。初年度の2022年は製造ライン自動化の背景にある労働集約型産業の原因と課題解決に向けた技術を紹介。2023年は前年の聴講者アンケート結果から、自動化の要望が強かった「原料投入・搬送」「検品・選別」「複数の機械装置の連結」等に対しモデレーターの川村貞夫氏と食品機械メーカーのパネリストが課題を整理しながら「目指すべき製造ラインは何か」を討論。最終年の今回は、目指す方向性を「多品種適量生産」と定め、食品メーカー担当者等ユーザーも交えて討論を展開。今後の目標についても意見が交わされた。

日時 6月5日(水) 10:30~12:00

会場 東8ホールセミナー会場

## 来場者に最高の展示会体験を提供するDX化

### FOOMA IDリーダー&来場者マイページ

来場者と出展社が名刺不要でお互いの情報を交換できるFOOMA IDリーダー。来場者は、クイックパスの2次元コードを出展社のスマートフォンで読み取ってもらっただけで、出展社とのコンタクト履歴が来場者マイページで閲覧可能。来場者は興味ある出展社や製品情報を来場者マイページで閲覧、保存でき、カタログもデータで入手できるなど来場者と出展社のつながりを生む、展示会DXのメリットを最大限提供した。

出展社とのやりとりが来場者マイページに集約!

公式WEB  
サイトで



出展社  
問い合わせ



カタログ  
ダウンロード

展示会場で



名刺交換



カタログ  
受け取り

### 食品製造自動化相談サービス FOOD TOWN

FOOD TOWNは食品業界に特化したプラットフォーム。食品機械メーカーと機械ユーザーをマッチングさせる過程で、自動化のプロが食品工場が抱える困りごと、お悩みごとをオンラインでヒアリングし、課題解決可能な出展社の製品・装置の紹介・導入までサポート。FOOMA JAPAN 2024会期中は会場内に専用コーナーを設け自動化相談アドバイザーが常駐し自動化の相談を受け、出展社のブースを相談者に紹介するなど出展社の出展効果をさらに高めることに寄与した。



### FOOMAアプリ

いつでもどこでもFOOMA JAPANにアクセスできる便利なアプリ。毎年好評の「FOOMAP(ブースマップ)」機能が強化され、スマホアプリとPCがシームレスに連動。ソリューションを見逃さないアプリとして利便性をパワーアップさせた。また「FOOMA アプリスタンプラリー」や「FOOMA東京バルクーボン」など、来場者が会場内で活用できる機能の強化も行った。



## SDGsへの取り組み

持続可能な社会の実現を目指し、SDGsへの取り組みを強化した。環境負荷低減への取り組みとしてリサイクル可能な資材、カーペット、環境に優しい装飾素材を使用。制作物ではペーパーレス化に努めた。また社会的・経済的に責任ある展示会への取り組みとして、WEBサイトの各出展社情報ページに各社が取り組んでいるSDGs目標を掲載、さらに東ホールトラックヤードに「SDGsコンポスト処理展示コーナー(ヤママーホールディングス(株)協力)」を設置した。



## 2.実施概要

名 称	FOOMA JAPAN 2024		
目 的	食品機械・装置および関連機器に関する技術ならびに情報の交流と普及をはかり、併せて食品産業の一層の発展に寄与することとし、「食の安全・安心」に関心が高まる中、食品機械の最先端テクノロジー、製品、サービスを通して、「食の技術が拓く、ゆたかな未来」を提案する。		
会 期	2024年6月4日(火)～7日(金) 4日間		
開場時間	午前10時～午後5時		
会 場	東京ビッグサイト 東1～8ホール		
テ ー マ	Breakthrough FOOMA		
主 催	一般社団法人 日本食品機械工業会		
後 援	経済産業省／農林水産省／厚生労働省／東京都／日本貿易振興機構(順不同)		
協 賛	一般財団法人食品産業センター 製粉協会 全国乾麺協同組合連合会 全国凍豆腐工業協同組合連合会 全国醸造機器工業組合 全国醤油工業協同組合連合会 全国食鳥肉販売業生活衛生同業組合連合会 全国食肉事業協同組合連合会 全国製麺協同組合連合会 一般社団法人全国清涼飲料連合会 全国味噌工業協同組合連合会 全国麦茶工業協同組合 全日本菓子協会 全日本菓子工業協同組合連合会 一般社団法人全日本コーヒー協会 全日本パン協同組合連合会 一般社団法人中部包装食品機械工業会 東京糧食機工業協同組合	一般社団法人日本アイスクリーム協会 一般社団法人日本果汁協会 一般社団法人日本かまぼこ協会 公益社団法人日本缶詰びん詰レトルト食品協会 一般社団法人日本機械工業連合会 公益社団法人日本給食サービス協会 一般社団法人日本産業機械工業会 一般社団法人日本自動販売システム機械工業会 日本醤油協会 一般社団法人日本食鳥協会 一般社団法人日本食肉加工協会 公益社団法人日本食肉協議会 公益財団法人日本食肉消費総合センター 公益財団法人日本食肉流通センター 公益社団法人日本食品衛生協会 一般社団法人日本植物蛋白食品協会 日本水産機械工業協同組合 協同組合日本製パン製菓機械工業会	一般社団法人日本精米工業会 一般社団法人日本惣菜協会 一般社団法人日本即席食品工業協会 一般社団法人日本厨房工業会 一般社団法人日本豆腐機器連合会 一般社団法人日本乳業協会 一般社団法人日本農業機械工業会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 一般社団法人日本パン工業会 一般社団法人日本フードサービス協会 一般社団法人日本粉体工業技術協会 一般社団法人日本包装機械工業会 公益社団法人日本包装技術協会 一般社団法人日本洋菓子協会連合会 一般社団法人日本冷凍空調工業会 一般社団法人日本冷凍食品協会 (50音順)
展示規模	出展社数989社／出展面積35,479.5㎡		
来場者数	113,777人		
セミナー・シンポジウム・併催行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スタートアップゾーン</li> <li>● 第3回FOOMAアワード2024</li> <li>● フードテックセッション 日本発のフードテックを世界に～食の最前線・食産業のグローバル化～</li> <li>● 出展社プレゼンテーションセミナー</li> <li>● 来場者参加型企画 食品製造ライン自動化推進プロジェクト</li> <li>● EHEDGセミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農林水産省セミナー</li> <li>● 海外市場セミナー</li> <li>● FOOMAビジネスフォーラム</li> <li>● 日本食品工学会フォーラム2024</li> <li>● 美味技術学会シンポジウム</li> <li>● 農業食料工学会シンポジウム フードテクノロジー(フードテック)フォーラム</li> <li>● 農業施設学会シンポジウム</li> <li>● 農林水産省コーナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アカデミックプラザ2024</li> <li>● 経営支援・輸出相談コーナー</li> <li>● 機関誌「ふーま」連載企画 テーブルトーク公開取材</li> <li>● 安全衛生設計コーナー</li> <li>● 学生対象 YO-CO-SO(ようこそ)FOOMA</li> <li>● FOOMA東京バル</li> <li>● みんなで応援! にっぽんの食北陸の食応援コーナー</li> </ul>

### FOOMA JAPAN 2024 展示会実行委員会 (50音順/2024.4.1 現在)

委員長 南 常之 (株)なんつね

副委員長 尾上 稔 OMC(株) 渡邊 将博 ワタナベフーマック(株)

委員 井上 敦司 第一工業(株) 金沢 弘 レオン自動機(株) 濱岡 伸治 (株)サタケ  
 大東 眞二 兵神装備(株) 上村 信作 ツカサ工業(株) 林 純一 関東混合機工業(株)  
 小笠原 昭典 (株)品川工業所 長沼 秀一 (株)長沼製作所



# 3. 展示規模と出展分野

## ■ 展示規模

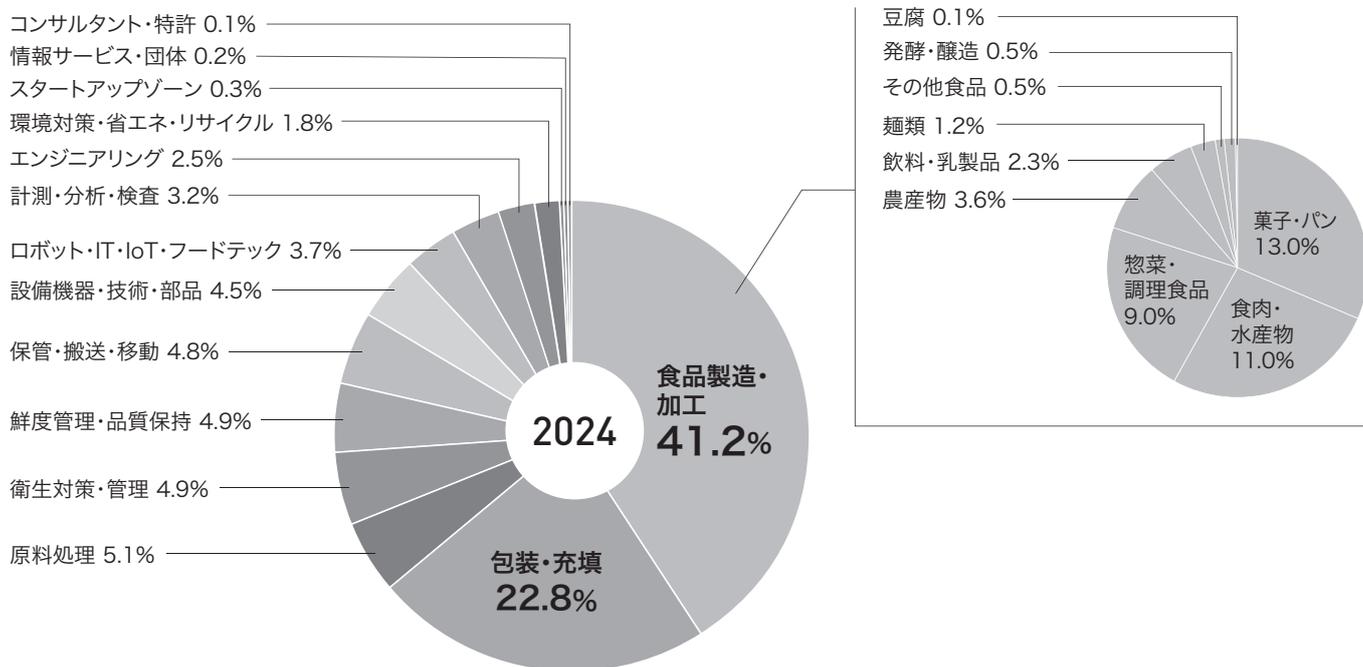
東京ビッグサイト東展示棟1～8ホールを使用し開催した。  
出展社数は989社、出展面積は35,479.5㎡で、過去最大の展示規模となった。

年度	2024	2023	2022
出展社数	989	969	874
出展面積(㎡)	35,479.5	35,448	34,626



**新規** 119社 / 1,687.5㎡

## ■ 出展分野別割合



分野	2024年	2023年	2022年
食品製造・加工	41.2	38.3	39.2
包装・充填	22.8	21.4	21.5
原料処理	5.1	5.2	5.0
衛生対策・管理	4.9	5.5	5.8
鮮度管理・品質保持	4.9	4.8	4.5
保管・搬送・移動	4.8	4.6	5.2
設備機器・技術・部品	4.5	6.0	5.7
ロボット・IT・IoT・フードテック	3.7	4.1	3.7
計測・分析・検査	3.2	4.6	4.5
エンジニアリング	2.5	2.8	2.8
環境対策・省エネ・リサイクル	1.8	2.0	1.6
スタートアップゾーン	0.3	0.3	0.3
情報サービス・団体	0.2	0.3	0.2
コンサルタント・特許	0.1	0.1	-
合計	100.0	100.0	100.0

食品製造・加工	2024年	2023年	2022年
菓子・パン	13.0	11.5	12.0
食肉・水産物	11.0	9.0	9.2
惣菜・調理食品	9.0	9.0	10.0
農産物	3.6	3.7	4.3
飲料・乳製品	2.3	2.4	1.6
麺類	1.2	0.8	1.1
その他食品	0.5	1.4	0.3
発酵・醸造	0.5	0.4	0.5
豆腐	0.1	0.1	0.2
合計	41.2	38.3	39.2

(単位:%)

(単位:%)

# 4. 来場者分析

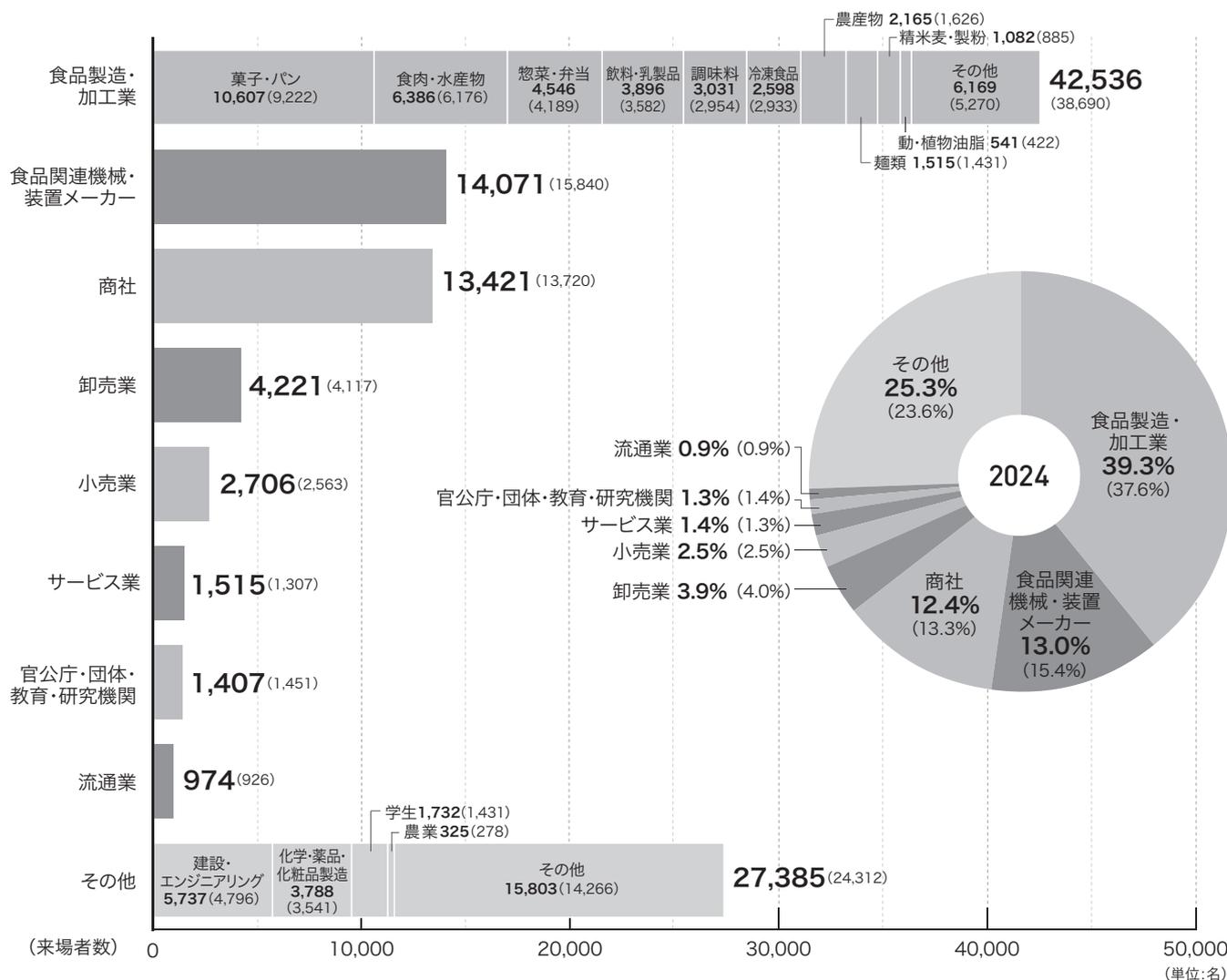
## 来場者数

来場者数は4日間で113,777名。食品機械および技術の最新トレンドを求め多くの業界関係者が来場した。結果、2023年の106,104名より7.2%増加した。

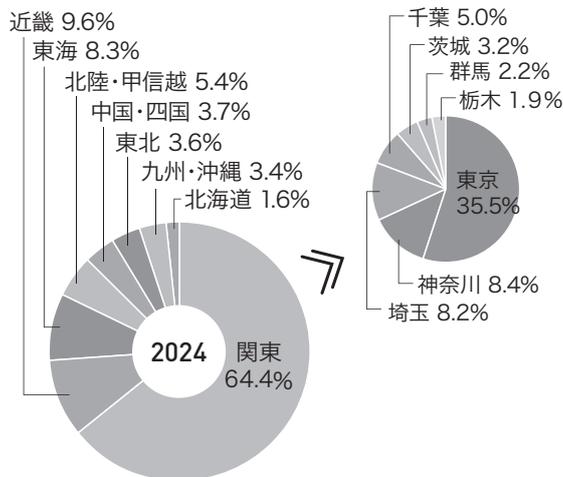
日付	天候	2024年 来場者数	前回(2023年)	前々回(2022年)
6/4(火)	曇りのち晴れ	23,986名 内海外(1,739名)	22,787名 内海外(927名)	20,781名 内海外(97名)
6/5(水)	晴れ	29,337名 内海外(1,948名)	28,111名 内海外(1,019名)	22,878名 内海外(120名)
6/6(木)	晴れ時々曇り	32,064名 内海外(1,323名)	30,203名 内海外(873名)	24,893名 内海外(107名)
6/7(金)	晴れ	28,390名 内海外(531名)	25,003名 内海外(359名)	24,165名 内海外(71名)
合計		113,777名 内海外(5,541名)	106,104名 内海外(3,178名)	92,717名 内海外(395名)

## 業種別来場者数(国内)

( )内は前回数値



## 国内来場者地域分類



	'24年来場者	前回('23年)
関東	64.4	61.6
近畿	9.6	10.2
東海	8.3	8.4
北陸・甲信越	5.4	5.1
中国・四国	3.7	4.6
東北	3.6	3.6
九州・沖縄	3.4	4.5
北海道	1.6	2.0
合計	100.0	100.0

	2024年	2023年
東京	35.5	34.6
神奈川	8.4	7.9
埼玉	8.2	7.6
千葉	5.0	4.8
茨城	3.2	3.1
群馬	2.2	1.9
栃木	1.9	1.7
合計	64.4	61.6

(単位:%)

(単位:%)

## 海外来場者数

高品質な日本食品機械と関連技術・サービスをワンストップで比較できるFOOM JAPANの利点が評価され、63カ国より5,541名が来場。前回から74.4%増となった。

	'24年来場者数	前回('23年)
合計	5,541名	3,178名

### 海外来場者内訳

国名	'24年来場者数	前回('23年)
<b>アジア・中東</b>	<b>5,097</b>	<b>2,922</b>
中国	1,765	755
韓国	1,597	983
台湾	691	380
タイ	243	209
ベトナム	171	118
香港	136	0
インドネシア	127	122
フィリピン	104	139
シンガポール	85	95
マレーシア	82	37
モンゴル	25	16
北朝鮮	18	14
インド	15	14
サウジアラビア	11	0
イスラエル	8	5
モルディブ	5	0
カンボジア	3	0
バングラデシュ	2	3
マカオ	2	0
アラブ首長国連邦	2	6
トルコ	2	9
ネパール	1	5
パキスタン	1	0
ラオス	1	0
ウズベキスタン	0	7
アフガニスタン	0	2
ミャンマー	0	2
イラン	0	1

オセアニア	79	43
オーストラリア	68	19
ニュージーランド	9	21
サモア	2	0
パプアニューギニア	0	3

国名	'24年来場者数	前回('23年)
<b>ヨーロッパ</b>	<b>229</b>	<b>107</b>
フランス	33	5
ポーランド	26	0
イギリス	25	24
ドイツ	25	17
オランダ	20	6
イタリア	17	20
アルバニア	10	1
ロシア	10	0
スペイン	9	5
ウクライナ	8	5
チェコ	7	0
スイス	5	5
ベルギー	5	0
カザフスタン	4	0
ブルガリア	4	1
スウェーデン	3	4
スロベニア	3	1
ハンガリー	3	0
ウズベキスタン	2	0
オーストリア	2	6
キルギス	2	0
ノルウェー	2	0
アイルランド	1	0
デンマーク	1	4
フィンランド	1	1
リヒテンシュタイン	1	0
ルーマニア	0	1
アルメニア	0	1

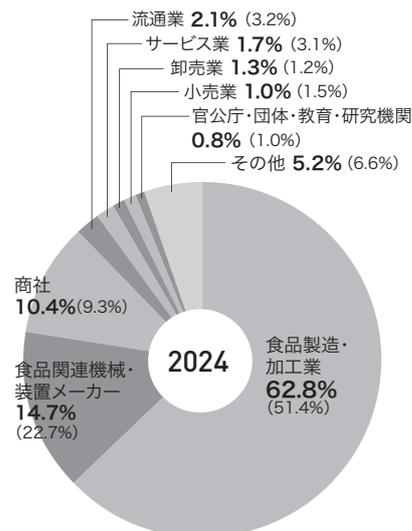
アフリカ	5	5
ケニア	2	0
エジプト	1	0
エチオピア	1	0
モロッコ	1	0
南アフリカ	0	3
ガーナ	0	1
コートジボワール	0	1

国名	'24年来場者数	前回('23年)
<b>北米</b>	<b>115</b>	<b>95</b>
アメリカ	95	70
カナダ	15	22
メキシコ	5	3

中南米	16	6
ブラジル	10	3
ペルー	4	1
キューバ	2	0
アルゼンチン	0	1
エクアドル	0	1

(単位:名)

### 業種別来場者数(海外) ※( )内は前回数値



# 5. セミナー・シンポジウム・併催行事

## EHEDGセミナー

クリーニングバリデーションとは殺菌プロセスの有無にかかわらず適切にクリーニングが実施された場合、この洗浄がハザード評価時に定めた製品接触面の衛生レベルを達成するために一貫して効果的であることを示す、文書化された証拠を取得することである。EHEDGのHein Timmerman会長によってその必要性、主な活動および手順が解説され、食品メーカーのみならず出展社も真剣に耳を傾けた。



聴講者数  
159名

**テーマ** フードセーフティにおける機械装置に対するクリーニングバリデーション

**講師** EHEDG会長  
Hein Timmerman 通訳: 逐次通訳

日時: 6月5日(水) 13:30~16:30 会場: 東8ホールセミナー会場 主催: (一社)日本食品機械工業会

時間	演題・演者
13:30 ~ 13:40	開会挨拶 [(一社)日本食品機械工業会/EHEDG Japan]
13:40 ~ 16:30	講演

## 農林水産省セミナー

人口減少や高齢化等に伴い、食品製造業に求められる生産性向上への取り組みとしてロボット・ITを活用した実証事業の成果を報告した。また、2024年4月に策定した「食品製造現場におけるロボット等導入および運用時の衛生管理ガイドライン」についても国の関連施策と併せて紹介され、聴講者は熱心に聞き入った。



聴講者数  
78名

**テーマ** 食品産業のスマート化の推進

**講師** 農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課 原材料調達・品質管理改善室 室長  
阿辺 一郎

日時: 6月4日(火) 11:00~12:00 会場: 東3ホール入口セミナー会場

時間	演題・演者
11:00 ~ 12:00	講演

## 海外市場セミナー

国内の市場が縮小する中、日本の食品産業の持続的発展を図るためには、世界の食市場の獲得が重要という観点から輸出拡大の実行戦略を紹介。日本の強みがある、輸出拡大の余地が大きい等の理由で選定された29の輸出重点品目とともに、マーケットインへの発想の転換、政府一体となった輸出関連の具体的施策が提示された。



聴講者数  
102名

**テーマ** 加工食品輸出の現状と支援策等について

**講師** 農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課 加工食品輸出班  
吉田 課長補佐

日時: 6月5日(水) 13:00~14:30 会場: 東5ホール入口 口頭発表会場

時間	演題・演者
13:00 ~ 14:30	講演

## 日本食品工学会フォーラム2024

食品の品質、風味、保存性、栄養価など多くの面で重要な役割を果たしている脂質。フォーラムでは大学・研究機関そして食品会社とその最新研究と活用方法を発表した。



**テーマ**  
食品脂質のサイエンスと  
エンジニアリング

日時: 6月4日(火) 10:30~16:00  
会場: 東8ホールセミナー会場  
主催: (一社)日本食品工学会  
共催: (一社)日本食品機械工業会

聴講者数  
112名

時間	演題・演者
10:30 ~ 10:35	開会挨拶 [(一社)日本食品工学会]
10:35 ~ 11:25	リパーゼの反応機構とそれを活用した機能性油脂の精製・製造 永尾 寿浩 (地独)大阪産業技術研究所 森之宮センター 生物・生活材料研究部 研究部長
11:25 ~ 12:15	油脂の酸化とこめ油 小石 翔太 築野食品工業(株) 研究開発本部 企画開発部 課長
13:15 ~ 13:25	午後の部 挨拶 [(一社)日本食品機械工業会]
13:25 ~ 14:15	国産オキアミからの粉末オイル素材開発と睡眠の質改善効果の検討 山田 秀俊 帝京科学大学 生命環境学部 生命科学科 准教授
14:15 ~ 15:05	種々の低融点植物油を対象とした結晶化の誘導期の測定と予測 宮川 弥生 (株)知能情報システム 研究開発部
15:05 ~ 15:55	食用油脂の結晶化と品質制御—チョコレート・エマルジョン・オレオゲルを例として— 上野 聡 広島大学 大学院 統合生命科学研究科 生物生産学部 教授
15:55 ~ 16:00	閉会挨拶 [(一社)日本食品工学会]

## 美味技術学会シンポジウム

食物アレルギーの概要や現状の対策とともに、原因物質であるアレルゲン除去に関わる最新技術や限定条件下での美味しさの付与技術などが紹介された。



テーマ

### 食物アレルギーと美味技術

日時:6月6日(木) 10:30~15:35

会場:東8ホールセミナー会場

主催:美味技術学会

共催:(一社)日本食品機械工業会

協賛:(一社)農業食料工学会、(一社)日本食品工学会、農業施設学会

聴講者数  
141名

時間	演題・演者
10:30	開催挨拶
10:40	(美味技術学会/(一社)日本食品機械工業会)
10:40	食物アレルギーの低減を目指した技術
11:20	佐藤 里絵 (国研)農研機構 食品研究部門 食品流通・安全研究領域 上級研究員
11:20	アレルギー物質を含む食品の表示制度と検査法について
12:00	為廣 紀正 国立医薬品食品衛生研究所 生化学部 第三室 室長
13:30	栄養士・保育士養成になぜ食物アレルギー教育が必要なのか
14:10	渡辺 香織 愛知文教女子短期大学 生活文化学科 教授
14:10	食品の美味しさと米粉利用について
14:50	谷本 昌太 県立広島大学 地域創生学部 地域創生学科健康科学コース 教授
14:50	牛乳たんぱく質の低抗原化技術とアレルギー児用ミルクの開発
15:30	中田 創 森永乳業(株) 研究本部 素材応用研究所 バイオプロセス研究室 室長
15:30	閉会挨拶
15:35	(美味技術学会)

## 農業食料工学会シンポジウム フードテクノロジー(フーテック)フォーラム

本フォーラムではフードテクノロジーの現状と将来の課題について、持続可能でムリ・ムダのない取り組みが発表された。



テーマ

### スマートフード技術の新展開 ~新技術でフードロス低減と 豊かな食卓を~

日時:6月7日(金) 10:30~15:20

会場:東8ホールセミナー会場

主催:(一社)農業食料工学会

共催:(一社)日本食品機械工業会

聴講者数  
197名

時間	演題・演者
10:30	開会挨拶
10:40	((一社)農業食料工学会/(一社)日本食品機械工業会)
10:40	代替タンパク質源としての需要拡大を目指した昆虫素材の生産技術開発
11:20	今泉 鉄平 岐阜大学 応用生物科学部 応用生命科学課程 食品生命科学コース 農産食品プロセス工学研究室 准教授
11:20	3Dフードプリンティングにおける共創イノベーションとその展望
12:00	古川 英光 山形大学大学院 理工学研究科 機械システム工学専攻 ソフト&ウェットマター工学研究室(SWEL)代表 教授
13:00	農林水産省におけるフードテック推進の取組
13:40	川口 貢 農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 新事業・国際グループ 新事業創出専門官
13:40	培養肉作成技術の現状と将来
14:20	松崎 典弥 大阪大学大学院 工学研究科 応用化学専攻 有機工業化学領域 教授
14:30	大豆ミートの現状と今後の展望
15:10	中野 康行 不二製油(株) たん白事業部門 たん白開発二部 第一課 課長
15:10	閉会挨拶
15:20	((一社)農業食料工学会)

## 農業施設学会シンポジウム

災害食・宇宙食は長期保存に耐え調理方法に制限がある中でも美味しさを提供するために、様々な研究が行われてきた。本シンポジウムではその最新事情と今後の展望について紹介があり、食の持つ意義と課題解決について思索する機会を提供した。



テーマ

### 知っておきたい災害食・ 宇宙食の今

日時:6月4日(火) 13:00~16:30

会場:東3ホール入口セミナー会場

主催:農業施設学会

後援:(一社)日本食品機械工業会

聴講者数  
95名

時間	演題・演者
13:00	開会挨拶
13:10	(農業施設学会)
13:10	災害時に求められる食・栄養支援
13:55	坪山(笠岡) 宣代 (国研)医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 国際栄養情報センター 国際災害栄養研究室 室長
13:55	災害食の技術開発の変遷と今後の展望
14:40	伊藤 秀朗 尾西食品(株) 取締役商品開発部長
14:50	宇宙空間における微細藻類ユーグレナの可能性
15:35	鈴木 健吾 (株)ユーグレナ 共同創業者 兼 エグゼクティブフェロー
15:35	宇宙食を起点とした食ビジネスのイノベーション ~Space Reverse Innovation~
16:20	浅野 高光 (株)Space Food Lab. 取締役
16:20	閉会挨拶
16:30	(農業施設学会)

## 5. セミナー・シンポジウム・併催行事

### FOOMAビジネスフォーラム



聴講者数  
**156名**

**講師** 元キリンビール株式会社  
マーケティング部エグゼクティブ・フェロー  
**和田 徹氏**

**テーマ** キリン「伝説のヒットメーカー」が  
伝えるヒットの極意  
～商品はつくるな市場をつくれ～

**日時** 6月5日(水) 16:30～18:00

**会場** 東1ホール入口セミナー会場

伝説のヒットメーカーとして「麒麟淡麗<生>」、「キリンチューハイ氷結」シリーズ、「キリンFREE」等のヒット商品を生み出してきた和田 徹氏。ヒットの極意として「まだ見ぬ市場を創る」という信念の元、2009年に生まれた世界初のノンアルコールビール「キリンFREE」を例に、誕生までのプロセスを詳細に解説。「千に三つ」、「一生涯に一ヒット」といわれる食品・飲料業界にあって空前のヒット商品を生み出したアイデアの背景などを熱く語った。講演後は会場からの質問に丁寧に答える和田氏の姿が印象的な講演会となった。

### 機関誌「ふーま」連載企画 テーブルトーク公開取材



#### 日食工1日広報委員長賞



公開取材後、日食工1日広報委員長が独自の視点で選出する「日食工1日広報委員長賞」は(株)不二商會が受賞。hitomiさんが表彰式のプレゼンターを務め、サイン入りクリスタルトロフィーを授与した。

アーティスト活動をはじめ多方面で活躍中のhitomiさんが日食工1日広報委員長に就任。公開取材では、普段食べている食品の製造機械が展示会場で間近に見られて興味深かったこと、歌手を目指したきっかけや思い出の曲、4児の母として奮闘している食育や、美と健康を維持するための食生活・心がけなどについて語った。

**ゲスト** アーティスト  
**hitomiさん**

**日時** 6/7(金) 13:00～13:40

**会場** 東5ホール入口 口頭発表会場

### 学生対象 YO-CO-SO(ようこそ)FOOMA

学生に食品機械業界に関する知識を深めてもらうこと、食ビジネスにあこがれや夢を持ってもらうことを目的として、日食工の青年部が企画。10回目の今回は東京都内の3校、150名が参加した。ガイダンスを実施後グループに分かれて展示ホールを見学、その後「あったら良い食品機械」「食品ロスを減らす食品機械」「食品製造動画の改善ポイントについて」のお題で意見交換を行った。



### 安全衛生設計コーナー

一般社団法人 日本食品機械工業会が取り組む安全・衛生事業の紹介を行った。また、併設のEHEDGコーナーでは、EHEDG等の活動紹介や質問、相談に応じた。



会場 東6ホール前 ガレリア

### 経営支援・輸出相談コーナー (支援施策の紹介)

中小企業基盤整備機構による経営支援相談、日本貿易振興機構(JETRO)による海外進出支援相談を実施。来場者の問い合わせに応じた。



会場 東3ホール前 ガレリア

### 農林水産省コーナー 「食品産業のスマート化の推進」 (生産性向上と食品の安全)

農林水産省 食品製造課  
原材料調達・品質管理改善室

農林水産省 食品製造課 原材料調達・品質管理改善室が近年生産性向上のために取り組んできた実証事業の成果や、本年4月に策定した「食品製造現場におけるロボット等導入及び運用時の衛生管理ガイドライン」について紹介を行った。



会場 東7ホール

## FOOMA東京バル



「FOOMA東京バル」では2023年に引き続き江東区にある数々の名店が出店し、江東区のソウルフード深川めしや人気のクラブビール等、自慢の味を提供した。さらにキッチンカーが多様な世界各国の料理を提供し、青天の下出展社と来場者が共に飲食を楽しんだ。

日時 6/4(火)~6/6(木) 11:00~19:00  
6/7(金) 11:00~14:00

会場 東1ホールロータリー

### るーくる@FOOMA ~江東区内障害者通所施設 自主生産品販売コーナー~

江東区役所で障害者通所施設による自主販売製品を販売する「るーくる」がFOOMA東京バルに出店。日替わりでクッキーやシフォンケーキなどのお菓子や惣菜パンなどの軽食を販売した。



### キッチンカーグランプリ

FOOMA東京バル利用者の投票によって優勝店舗が決まるキッチンカーグランプリを本年も開催。参加対象16店舗の中からビール4種類飲み比べセットを提供した江戸東京ビールが2年連続でグランプリを受賞した。



## みんなで応援! にっぽんの食 北陸の食応援コーナー・令和6年能登半島地震に係る災害義援金募金箱の設置



### 北陸の食をみんなで応援するコーナーを開設

北コンコースでは北陸の加工食品を集め販売した「北陸の食マルシェ」。隣接するパネル展示コーナーでは、「知ってください! 北陸4県の食品産業のいま!」と題し、令和6年能登半島地震で被災した石川県能登町の蔵元「数馬酒造」の復興の歩みを紹介した。その他石川県の食品産業に関わる被害状況・今後の復興方針、北陸4県の出展社34社による復興へのコメントを紹介した。また会場内には令和6年能登半島地震義援金への募金箱を設置し、集まった50万円は石川県に寄託した。

会場 北コンコース/東1ホールロータリー/リンクスペース

企画協力 全国商工会連合会、株式会社ビッグサイトサービス

# 5. セミナー・シンポジウム・併催行事

## アカデミックプラザ2024

アカデミックプラザは産・学・官で共同研究開発の契機を生み出す交流の場で、本年で開催32回目。大学などの各研究機関が最新研究成果の発表を行い、優秀な発表にはFOOMA AP賞を贈呈した。来場者は各ブースを回り研究成果について担当者に質問をしていた。



日時 6月4日(火)~6月7日(金)

会場 東5ホール前 ガレリア / 東5ホール入口 口頭発表会場

参加数 **43件**

### FOOMA AP賞 受賞研究機関一覧



#### AP賞グランプリ

研究機関名

大阪大学 基礎工学研究科  
流体力学グループ(後藤研究室)

テーマ

攪拌パーツなし攪拌機(粉体および液体)

AP賞来場者  
評価部門

研究機関名

富山県立大学 工学部 医薬品工学科 竹井ライフサイエンス材料研究室

テーマ

超微細表面ナノ加工で切り開く食品機械材料の防汚・撥水・抗菌と食品鮮度・腐敗検出技術

AP賞出展社  
評価部門

研究機関名

筑波大学 システム情報系知能機能工学域音響システム研究室 バイオ・環境計測グループ

テーマ

自律型搬送ロボットに貢献する音響版LiDARシステム~人の耳を超えるセンシング技術~

AP賞研究者  
評価部門

研究機関名

北見工業大学 工学部 地域未来デザイン工学科 バイオ食品工学コース

テーマ

廃果皮抽出物の添加による改質豚腸ソーセージの開発および非破壊品質評価

ポスターセッション参加大学・研究機関

会場 東5ホール前 ガレリア

- 熊本大学 産業ナノマテリアル研究所 バイオマテリアル部門  
応用バイオエレクトロニクス研究室
- 山口大学 生命医工学センター(YUBEC)
- 摂南大学 農学部 食品栄養学科 食品加工工学研究室  
三重大学 大学院 生物資源学研究所 食品生物情報工学研究室
- 北海道立工業技術センター 研究開発部 函館マリカルプロ推進室
- 東京海洋大学 食品生産科学部門 食品熱操作工学研究室
- 北海道立総合研究機構 食品加工研究センター 応用技術部  
応用技術グループ  
北海道大学 大学院 水産科学研究院 海洋応用生命科学部門  
水産食品科学分野 食品衛生学研究室
- 愛媛大学 大学院 農学研究科 食料生産学専攻 流通工学研究室
- 北海道大学 大学院 農学研究科 食品加工工学研究室
- 三重大学 大学院 生物資源学研究所 海洋微生物学研究室
- 東京海洋大学 海洋生命科学部 食品生産科学科 食品冷凍学研究室
- 国立台湾海洋大学 生命科学学院 食品科学学科 食品工学研究室(台湾)
- ハワイ大学(米国)
- 岐阜大学 応用生物科学部 食品加工学研究グループ
- 京都大学 大学院 工学研究科 化学工学専攻 分離工学分野  
京都大学 大学院 工学研究科 化学工学専攻 材料プロセス工学分野  
京都大学 大学院 農学研究科 食品生物科学専攻 農産製造学分野
- マッセイ大学 食と先端技術学部(Jシン教授の研究室)(ニュージーランド)
- 日本大学 大学院 生産工学研究科 マネジメント工学専攻  
(フードマネジメント)
- 筑波大学 生命環境系 農産食品加工研究室
- 筑波大学 システム情報系 知能機能工学域 音響システム研究室  
バイオ・環境計測グループ
- 立命館大学 理工学部 ロボティクス学科 ソフトロボティクス研究室
- 中国農業大学 食品科学・栄養工程学院  
食品加工と貯蔵工学研究室(中国)
- 鹿児島大学 農学部 食料生命学科 食料環境システム学研究室  
河北科技大学 食品生物学部 食品学科  
食品加工コントロール研究室(中国)
- 法政大学 生命科学部(森研究室)  
法政大学 大学院 スラリー工学研究所
- 北見工業大学 工学部 地域未来デザイン工学科 バイオ食品工学コース  
食品栄養化学研究室(食品加工学・食品分析分野)
- 水産研究・教育機構 水産大学校 海洋機械工学科 渡邊研究室
- 酪農学園大学 食と健康学類 発酵科学研究室  
北海道立総合研究機構 食品加工研究センター 網走水産試験場
- 東北大学 大学院 農学研究科 農芸化学専攻 テラヘルツ食品工学分野
- 産業技術総合研究所 製造技術研究部門  
農業・食品産業技術総合研究機構 基盤技術研究本部  
遺伝資源研究センター
- 新潟大学地域連携フードサイエンスセンター  
(農学部 食品科学プログラム 畜産製造学研究室)
- 千葉大学 大学院 工学研究科 (武居研究室)
- 豊橋技術科学大学 機械工学系 マイクロ・ナノ機械システム研究室
- 日本工学院 八王子専門学校 AIシステム科 食品・農業バイオグループ
- 埼玉工業大学 大学院 工学研究科  
マイクロ・ナノ工学研究室(長谷研究室)
- 広島大学 大学院 統合生命科学研究所 食品工学研究室
- 国立台湾海洋大学 食品科学学科 バイオポリマー研究室(台湾)
- 九州大学 大学院 農学研究科 環境農学部 生産環境科学講座  
農産食料流通工学研究室
- 東京都立産業技術高等専門学校 ものづくり工学科 高専品川キャンパス  
化学研究室
- 富山県立大学 工学部 医薬品工学科 (竹井ライフサイエンス材料研究室)
- 国立高専(豊田・阿南・広島・鳥羽)・大同大学  
マグネティックドライブ共同研究グループ
- 大阪大学 基礎工学研究科 流体力学グループ(後藤研究室)
- 九州情報大学 経営情報学部 情報ネットワーク学科(荒平研究室)
- 山形大学 農学部
- とちぎ財団(北海道立十勝圏地域食品加工技術センター)
- 高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科
- ジョージア大学 農環境学部 食品科学工学科(米国)

口頭発表スケジュール

会場 東5ホール入口 口頭発表会場

時間		6/4(火)
10:30	}	北海道立総合研究機構 食品加工研究センター 応用技術部 応用技術グループ 北海道大学 大学院 水産科学研究院 海洋応用生命科学部門 水産食品科学分野 食品衛生学研究室 <b>低温増殖性芽胞形成菌の制御による要冷蔵加工食品のロングライフ化</b>
11:00		
11:10	}	高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 <b>食品分野で広がり始めたファインバブル技術!</b>
11:40		
12:50	}	富山県立大学 工学部 医薬品工学科 竹井ライフサイエンス材料研究室 <b>超微細表面ナノ加工で切り開く食品機械材料の防汚・撥水・抗菌と食品鮮度・腐敗検出技術</b>
13:20		
13:30	}	筑波大学 システム情報系 知能機能工学域 音響システム研究室 バイオ・環境計測グループ <b>自律型搬送ロボットに貢献する音響版LiDARシステム ~人の耳を超えるセンシング技術</b>
14:00		
14:10	}	立命館大学 理工学部 ロボティクス学科 ソフトロボティクス研究室 <b>ハンドリング評価のための食品サンプルの試み</b>
14:40		
14:50	}	大阪大学 基礎工学研究科 流体力学グループ(後藤研究室) <b>攪拌パーツなし攪拌機(粉体および液体)</b>
15:20		
15:30	}	京都大学 大学院 工学研究科 化学工学専攻 分離工学分野 京都大学 大学院 工学研究科 化学工学専攻 材料プロセス工学分野 京都大学 大学院 農学研究科 食品生物科学専攻 農産製造学分野 <b>植物由来物質からの代替肉製造技術開発と技術経済評価</b>
16:00		
16:10	}	日本大学 大学院 生産工学研究科 マネジメント工学専攻(フードマネジメント) <b>コロナギ粉末を添加した植物性たんぱく質由来代替肉の食品テクスチャー</b>
16:40		
時間		6/5(水)
10:30	}	岐阜大学 応用生物科学部 食品加工学研究グループ <b>加工食品の“おいしさ”を紐解く多糖分子構造解析技術</b>
11:00		
11:10	}	東京海洋大学 海洋生命科学部 食品生産科学科 食品冷凍学研究室 <b>凍結・解凍工程の最適化に向けた数値流体解析の活用事例</b>
11:40		
14:50	}	熊本大学 産業ナノマテリアル研究所 バイオマテリアル部門 応用バイオエレクトロニクス研究室 <b>高タンパク液状食品を対象とする高電界パルス殺菌の大流量処理</b>
15:20		
15:30	}	北見工業大学 工学部 地域未来デザイン工学科 バイオ食品工学コース 食品栄養化学研究室(食品加工学・食品分析分野) <b>廃果皮抽出物の添加による改質豚腸ソーセージの開発および非破壊品質評価</b>
16:00		
16:10	}	酪農学園大学 食と健康学類 発酵科学研究室 北海道立総合研究機構 食品加工研究センター 網走水産試験場 <b>環境の変動に伴う新たな水産資源を用いた無駄のない食品加工技術 ~特に道産小型プリを活用した複数の調味料素材の変換技術について~</b>
16:40		
時間		6/6(木)
10:30	}	鹿児島大学 農学部 食料生命学科 食料環境システム学研究室 河北科技大学 食品生物学部 食品学科 食品加工コントロール研究室(中国) <b>電気処理水によるアスコルビン酸の抗酸化作用増強効果とその利用法の検討</b>
11:00		
11:10	}	法政大学 生命科学部(森研究室) 法政大学 大学院 スラリー工学研究所 <b>粒子分散系制御及び評価の新展開</b>
11:40		
12:50	}	山口大学 生命医工学センター(YUBEC) 摂南大学 農学部 食品栄養学科 食品加工工学研究室 三重大学 大学院 生物資源学研究所 食品生物情報工学研究室 <b>乳化フレーバー噴霧乾燥粉末の乾燥および貯蔵時のフレーバー残留率</b>
13:20		
13:30	}	広島大学 大学院 統合生命科学研究所 食品工学研究室 <b>インピーダンス測定によるパウチ入り食品の調理過程の未開封計測</b>
14:00		
14:10	}	日本工学院 八王子専門学校 AIシステム科 食品・農業バイオグループ <b>“騒がしい環境も問題なし! 音で食品の硬さを手軽にチェック”-Swept-Sine法による食品硬度の非破壊検査の実現:食品製造現場と小売店での新しい応用-</b>
14:40		
14:50	}	埼玉工業大学 大学院 工学研究科 マイクロ・ナノ工学研究室(長谷研究室) <b>アコースティックエミッションセンシングで描く食感評価の未来像</b>
15:20		
15:30	}	豊橋技術科学大学 機械工学系 マイクロ・ナノ機械システム研究室 <b>食品の安全・衛生を守るAll-in-One遺伝子検査システム</b>
16:00		
16:10	}	千葉大学 大学院 工学研究科 (武居研究室) <b>電気インピーダンス・トモグラフィ法(EIT)を用いた食品製造プロセスの見える化</b>
16:40		
時間		6/7(金)
10:30	}	三重大学 大学院 生物資源学研究所 海洋微生物学研究室 <b>油脂汚れの拭き取り洗浄除去 -乾拭き vs 水拭き-</b>
11:00		
11:10	}	北海道大学 大学院 農学研究科 食品加工工学研究室 <b>言語化しづらい感覚を浮き彫りに! ランキング手法で解き明かす農産物の傷と曲がりに対する認識</b>
11:40		



# 5. セミナー・シンポジウム・併催行事

## ■ 出展社プレゼンテーションセミナー

会場	時間	6/4 (火)		6/5 (水)		6/6 (木)		6/7 (金)																																																																																																																																																												
東2ホール入口セミナー会場	12:40 ~ 13:25	殺菌水はどれが正解？ 炭酸次亜水の具体的な事例も紹介します！ エコノス・ジャパン	聴講者数 <b>83名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>134名</b>	東1ホール入口セミナー会場	10:30 ~ 11:15	amixonミキサーは 抜群の洗浄性で 菌の発生も抑制 東洋ハイテック	聴講者数 <b>30名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>134名</b>	東2ホール入口セミナー会場	10:30 ~ 11:15	アルミ包装の金属異物を 手軽にチェックする 金属検出機のご紹介 新東工業	聴講者数 <b>67名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>173名</b>	東3ホール入口セミナー会場	10:30 ~ 11:15	事例から学ぶ食品製造の 現場の教育DXを推進させる 動画活用術 Tebiki	聴講者数 <b>62名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>357名</b>	10:30 ~ 11:15	低温機器の集中管理による、 品質管理と省エネ運転の実現 三菱電機	聴講者数 <b>64名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>208名</b>	10:30 ~ 11:15	計量制度改正に伴う検定 最新事例～合格に向けて ポイントを解説～ エー・アンド・デイ	聴講者数 <b>81名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>331名</b>																																																																																																																																									
	13:45 ~ 14:30	微粉砕技術やウルトラ ファインバブル技術で 取組み社会課題解決 ミナミ産業	聴講者数 <b>85名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>221名</b>		11:35 ~ 12:20	初期投資ゼロの 脱炭素事例～水処理、 バイオマス利用等～ Daigas エナジー	聴講者数 <b>97名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>221名</b>		11:35 ~ 12:20	食品業界に革命を！ 7Sの定着に貢献する 新製品の紹介 パーテック	聴講者数 <b>88名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>269名</b>		11:35 ~ 12:20	リモートメンテナンスで ダウンタイムと生産損失を削減 HMSインダストリアルネットワークス	聴講者数 <b>45名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>156名</b>	11:35 ~ 12:20	人工知能による自動化・ 異物検出・かすれ印字・ シール不良検出 大道産業	聴講者数 <b>63名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>545名</b>																																																																																																																																													
	14:50 ~ 15:35	建屋の陽圧化による 防虫対策～自動洗浄機能付 フィルタのご紹介～ ビュアテック	聴講者数 <b>78名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>382名</b>		12:40 ~ 13:25	防虫監視は他人事 じゃない！ AIを活用した 新しい品質管理 環境機器	聴講者数 <b>79名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>382名</b>		12:40 ~ 13:25	植物工場産野菜を 使用した惣菜製造を 考えてみませんか？ 中設エンジ	聴講者数 <b>57名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>93名</b>		12:40 ~ 13:25	省人化と衛生レベルUP 実現のための洗浄システム クレオ	聴講者数 <b>69名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>72名</b>	12:40 ~ 13:25	粉体処理装置の新たな 活用技術～粉砕・乾燥・造粒& 整粒新技術～ 奈良機械製作所	聴講者数 <b>70名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>72名</b>	12:40 ~ 13:25	食品工場の粉体 ハンドリングはおまかせ！ 「コンテナ・システム」 日清エンジニアリング	聴講者数 <b>72名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>72名</b>																																																																																																																																									
6/4 (火) 会場	12:40 ~ 13:25	殺菌水はどれが正解？ 炭酸次亜水の具体的な事例も紹介します！ エコノス・ジャパン	聴講者数 <b>83名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>134名</b>	6/5 (水) 会場	10:30 ~ 11:15	amixonミキサーは 抜群の洗浄性で 菌の発生も抑制 東洋ハイテック	聴講者数 <b>30名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>134名</b>	6/6 (木) 会場	10:30 ~ 11:15	アルミ包装の金属異物を 手軽にチェックする 金属検出機のご紹介 新東工業	聴講者数 <b>67名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>173名</b>	6/7 (金) 会場	10:30 ~ 11:15	事例から学ぶ食品製造の 現場の教育DXを推進させる 動画活用術 Tebiki	聴講者数 <b>62名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>357名</b>	6/5 (水) 会場	11:35 ~ 12:20	初期投資ゼロの 脱炭素事例～水処理、 バイオマス利用等～ Daigas エナジー	聴講者数 <b>97名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>221名</b>	6/6 (木) 会場	11:35 ~ 12:20	食品業界に革命を！ 7Sの定着に貢献する 新製品の紹介 パーテック	聴講者数 <b>88名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>269名</b>	6/7 (金) 会場	11:35 ~ 12:20	リモートメンテナンスで ダウンタイムと生産損失を削減 HMSインダストリアルネットワークス	聴講者数 <b>45名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>156名</b>	6/5 (水) 会場	12:40 ~ 13:25	防虫監視は他人事 じゃない！ AIを活用した 新しい品質管理 環境機器	聴講者数 <b>79名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>382名</b>	6/6 (木) 会場	12:40 ~ 13:25	植物工場産野菜を 使用した惣菜製造を 考えてみませんか？ 中設エンジ	聴講者数 <b>57名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>93名</b>	6/7 (金) 会場	12:40 ~ 13:25	省人化と衛生レベルUP 実現のための洗浄システム クレオ	聴講者数 <b>69名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>72名</b>	6/5 (水) 会場	13:45 ~ 14:30	今まで自動化が難しかった ワーク吸着実現 (ZNC・XT661) SMC	聴講者数 <b>70名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>230名</b>	6/6 (木) 会場	13:45 ~ 14:30	デジタル化と自動化による 食品工場の生産性向上 ツカサ工業	聴講者数 <b>80名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>122名</b>	6/7 (金) 会場	13:45 ~ 14:30	デジタル化と自動化による 食品工場の生産性向上 ツカサ工業	聴講者数 <b>80名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>122名</b>	6/5 (水) 会場	14:50 ~ 15:35	微生物を用いた フードテックによる 持続可能なイノベーション フジワラテクノアート	聴講者数 <b>82名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>235名</b>	6/6 (木) 会場	14:50 ~ 15:35	微酸性電解水の殺菌及び 除菌以外の活用方法 日本微酸性電解水協会 ホクエツ (神奈川)	聴講者数 <b>79名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>79名</b>	6/7 (金) 会場	14:50 ~ 15:35	RFID×食品業界 こうすればうまく使える RFID サトー	聴講者数 <b>73名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>395名</b>	6/6 (木) 会場	14:50 ~ 15:35	待ったなし！ 食品業界が 取り組む2024年問題と 物価高対策 なんつね	聴講者数 <b>72名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>268名</b>	6/7 (金) 会場	14:50 ~ 15:35	「生産工程改善のヒント」 ～凍縮・乾燥・殺菌・造粒を やさしく解説～ 大川原製作所	聴講者数 <b>87名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>319名</b>	6/5 (水) 会場	10:30 ~ 11:15	加工ラインの菌数制御を 確かなものにする 除菌洗浄のコツを解説！ ライオンハイジーン	聴講者数 <b>98名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>410名</b>	6/6 (木) 会場	10:30 ~ 11:15	農業用選果システム ～食品加工選別までの 生産効率と異物混入対策 トムラーテイング	聴講者数 <b>67名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>204名</b>	6/7 (金) 会場	10:30 ~ 11:15	必須！ 工場の施設・設備 担当者が知るべき 石綿のリスクと法改正 赤門ウレックス	聴講者数 <b>68名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>68名</b>	6/5 (水) 会場	11:35 ~ 12:20	デジタル化による データ活用事例と 将来の設備投資費用削減 ビュルケルトジャパン	聴講者数 <b>81名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>282名</b>	6/6 (木) 会場	11:35 ~ 12:20	植物由来の食品と 飲料のトレンドと 最新加工技術 日本テトラパック	聴講者数 <b>82名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>355名</b>	6/7 (金) 会場	11:35 ~ 12:20	使い捨て手袋の 油化リサイクルシステムの ご提案 ワークリユーション	聴講者数 <b>36名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>139名</b>	6/5 (水) 会場	12:40 ~ 13:25	食品工場で活きる「見える化」 ～センサ・検査の データ収集と活用 オブテックス・エフエー	聴講者数 <b>69名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>479名</b>	6/6 (木) 会場	12:40 ~ 13:25	高速攪拌機を用いた 増粘剤の溶解事例 プライミクス	聴講者数 <b>77名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>77名</b>	6/7 (金) 会場	12:40 ~ 13:25	さらに良くなる食品工場の 進め方～新築・改修判断の 決め手とは～ 三和建設	聴講者数 <b>82名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>82名</b>	6/5 (水) 会場	13:45 ~ 14:30	食品工場のカビ対策と 対策製品の開発 ファインテック	聴講者数 <b>122名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>122名</b>	6/6 (木) 会場	13:45 ~ 14:30	目視検査を自動化！ 品質検査における課題と AIを用いた解決事例 コグネックス	聴講者数 <b>74名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>74名</b>	6/7 (金) 会場	13:45 ~ 14:30	毛髪クレーム対策に 有効と考える 「アイテム運用」とは？ 国立	聴講者数 <b>95名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>349名</b>	6/5 (水) 会場	14:50 ~ 15:35	SDGsと消費者ニーズに 対応した高機能粉末と 粉体加工の紹介 パウレック	聴講者数 <b>81名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>81名</b>	6/6 (木) 会場	14:50 ~ 15:35	限られた空間に 効率的な軸配置 THKのロボットモジュール THK	聴講者数 <b>60名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>195名</b>	6/7 (金) 会場	14:50 ~ 15:35	ヒーターで品質改善！ 凍結、結露、温度管理、 高粘度、全てお任せ スリーハイ	聴講者数 <b>55名</b>	アーカイブ 聴講登録者数 <b>136名</b>

出展社が自社の製品・技術・サービスについて詳細な説明を行うプレゼンテーションセミナーは、4日間3会場で開催した。セミナーは好評を博し、中でも食品工場の衛生対策や持続可能な社会にアプローチする技術についてのセミナーは多くの聴講者を集めた。また出展社プレゼンテーションセミナーの動画を会期終了後に配信するアーカイブセミナーを実施した。聴講希望者は事前に視聴登録を行い、会期終了後の6/10(月)～6/24(月)の間、各来場者マイページで視聴した。

日時 6月4日(火)～6月7日(金)

会場 東1ホール入口セミナー会場／  
東2ホール入口セミナー会場／  
東3ホール入口セミナー会場

発表社数

48社 (48セッション)

## 開会式

主催者挨拶／ 一般社団法人 日本食品機械工業会 会長  
**大川原 行雄**

テープカット／ 経済産業省 製造産業局 産業機械課長  
**安田 篤**

農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課長  
**渡邊 顕太郎**

EHEDG 会長  
**Hein Timmerman**

一般社団法人 日本食品機械工業会 会長  
**大川原 行雄**

FOOMA JAPAN 2024 展示会実行委員会 委員長  
一般社団法人 日本食品機械工業会 副会長  
**南 常之**

FOOMA JAPAN 2024 展示会実行委員会 副委員長  
一般社団法人 日本食品機械工業会 理事  
**尾上 稔**

FOOMA JAPAN 2024 展示会実行委員会 副委員長  
一般社団法人 日本食品機械工業会 理事  
**渡邊 将博**

(敬称略)



日時 6月4日(火) 9:45~10:00

会場 北コンコース

## 開催レセプション

次第 主催者挨拶／ 一般社団法人 日本食品機械工業会 会長  
**大川原 行雄**

来賓祝辞／ 経済産業省 製造産業局 産業機械課長  
**安田 篤**  
農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部  
食品製造課 原材料調達・品質管理改善室 室長  
**阿辺 一郎**

第3回FOOMAアワード  
2024 表彰式／ **各賞授賞者**

第3回FOOMAアワード FOOMAアワード2024 審査委員長  
2024 講評／ **後藤 芳一**

乾杯／ FOOMA JAPAN 2024 展示会実行委員会 委員長  
一般社団法人 日本食品機械工業会 副会長  
**南 常之**

中締め／ 一般社団法人 日本食品機械工業会 副会長  
**櫻澤 誠**

(敬称略)



日時 6月4日(火) 17:45~19:30

会場 ヒルトン東京お台場 1F ペガサスの間

## 来賓の視察

経済産業省、農林水産省からの来賓に加えキューバ国外国貿易外国投資省 外資交渉部長 Lizbet DIAZ GARCIA氏、キューバ国大使館 経済通商担当参事官 Katia MONZON氏、さらにタイ王国大使館 経済・投資事務所公使(投資) Kanokporn Chotipal氏が来場し、自国の食品製造課題に関連する機械を熱心に見学した。



## 6. 来場者サービスと災害時への備え

### 来場者サービス

#### 無料シャトルバス

東7・8ホール前とりんかい線「国際展示場駅」ターミナルを無料シャトルバスが往來した。FOOMA東京バル開店時間に合わせ、16～19時は発着場所を東1ロータリーへ変え運行した。



6/4(火)～6/6(木)	9:30～16:00	東7・8ホール	発着
	16:00～19:00	東1ホールロータリー	発着
6/7(金)	9:30～15:00	東7・8ホール	発着
	15:00～17:00	東1ホールロータリー	発着

#### インフォメーション/ グローバル インフォメーション

来場者からの問い合わせに対応。出展社や製品検索、会場内施設について案内した。海外来場者には英・中・韓スタッフが各言語で応じた。



#### 設置場所

東4ホール前ギャラリー／東8ホール前リンクスペース

#### 歩くガイド インフォメーション サービス

案内スタッフがタブレット端末を持ちホール内を巡回、来場者の質問にその場で答えるサービスを行った。海外来場者に対しては翻訳ツールで案内をした。



#### クローク

手荷物の無料預かりサービスを提供した。



#### 設置場所

北コンコース／東7ホール前リンクスペース

### 災害時への備え

災害時には主催者・出展社・東京ビッグサイトが協力し来場者を含めた一同が安全に避難できるよう、会期前日の6月3日(月)に東京ビッグサイトで避難訓練を実施した。117社・18団体、総勢251名が訓練に参加し、避難ルートの確認後、消火器訓練、AED救助訓練を行った。

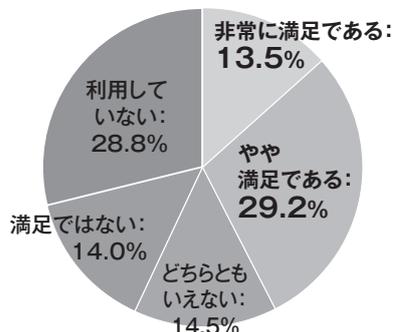


## 7. FOOMA IDリーダー

来場者と出展社の相互コミュニケーションをサポートするサービスとして、FOOMA IDリーダーを全出展社へ利用数無制限、無料で提供した。出展社が会場内で来場者のクイックバスを専用アプリで読み取ると双方が名刺情報交換でき、来場者は来場者マイページから出展社の製品カタログを入手できる。

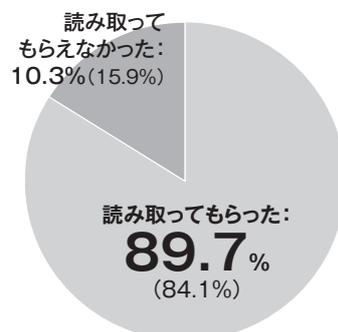
#### 出展社アンケートより

Q. FOOMA IDリーダーのご利用満足度をお聞かせください。※



#### 来場者アンケートより

Q. 展示会場内で出展社にクイックバスの二次元コードを読み取ってもらいましたか?



# 8.出展社アンケート調査結果

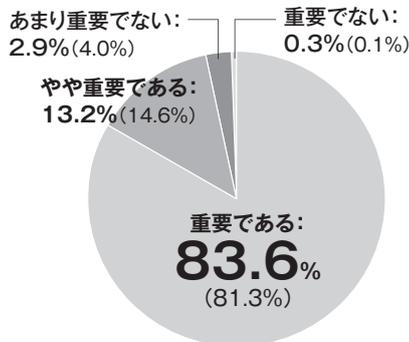
( )内は前回数値  
※新規項目

**調査概要** 【調査日】…6/10(月)~6/21(金) 【回収数】…650社

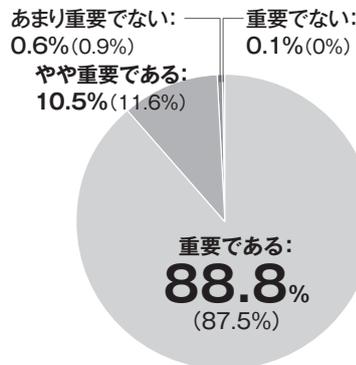
出展社の9割以上が様々な  
営業活動のために  
重要な展示会であると回答!

Q.1 貴社にとってFOOMA JAPANの位置づけをお聞かせください。

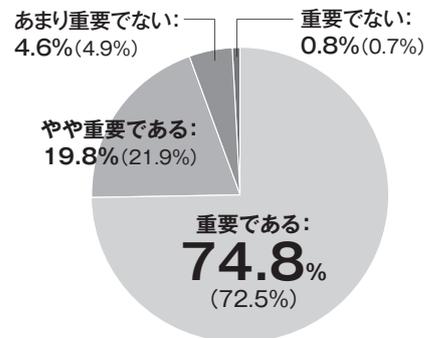
## 1. 商談の場として



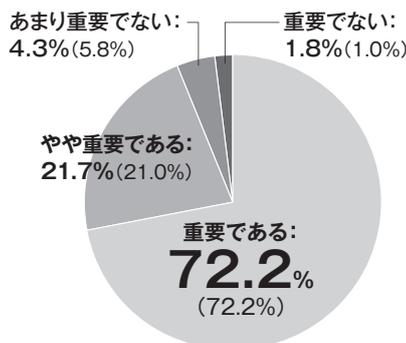
## 2. 新規顧客獲得の場として



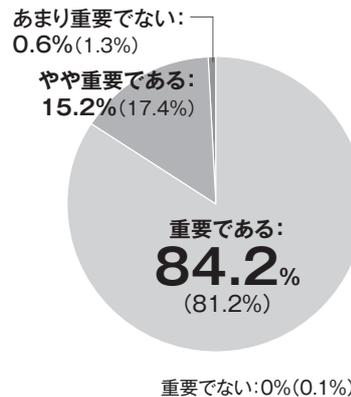
## 3. 既存顧客へのアピールの場として



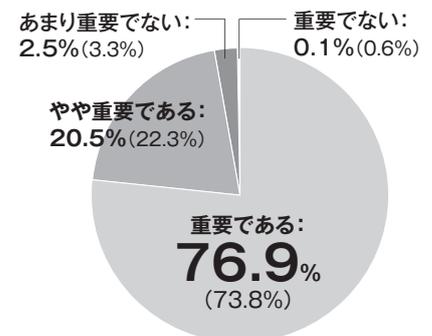
## 4. 新製品発表の場として



## 5. 販売促進/PRの場として

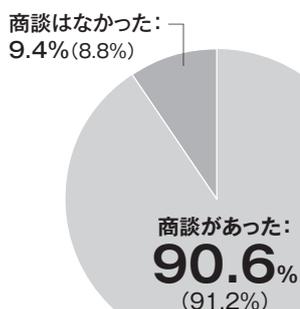


## 6. 製品に対する来場者からの意見収集の場所として



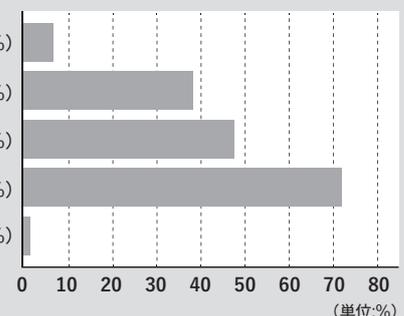
Q.2 会期中における来場者との商談についてお聞かせください。

出展社の9割以上が商談が  
あったと回答!



### 商談があった【複数回答】

成約した	7.0%(11.7%)
見積りを提出した	38.2%(50.6%)
サンプルや資料を提出した	47.4%(49.7%)
会期終了後、詳細をかためることにした	71.6%(65.9%)
その他	1.7%(3.9%)

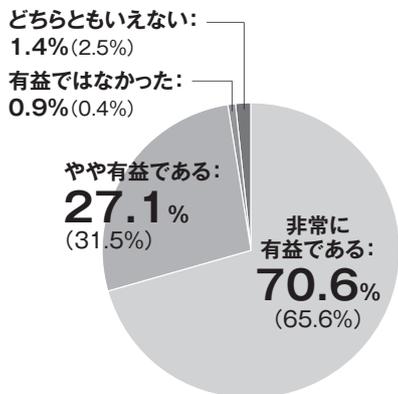


# 8. 出展社アンケート調査結果

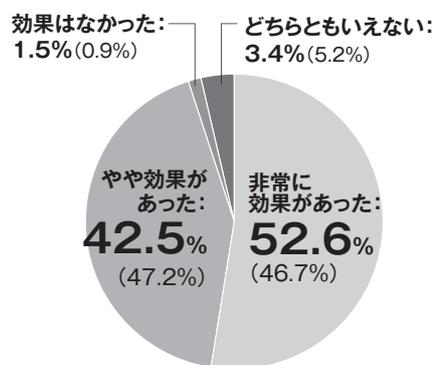
( )内は前回数値  
※新規項目

Q. 今回の出展について評価をお聞かせください。

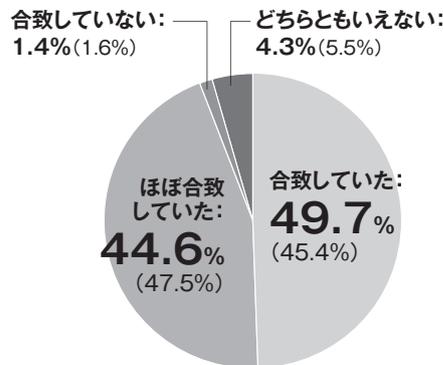
## 1. 出展は有益でしたか？



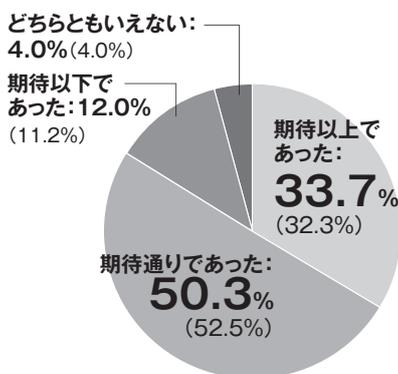
## 2. 出展によるPR、販売促進効果は実感できましたか？



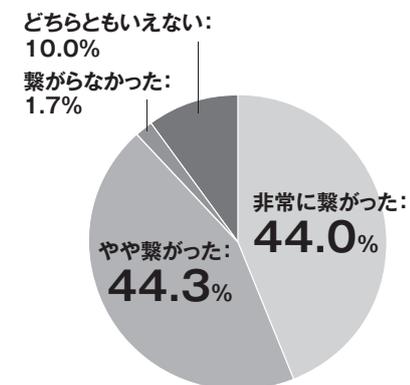
## 3. 来場者は貴社の対象に合致していましたか？



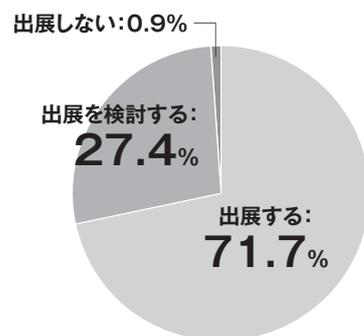
## 4. 貴社ブースへの来場者数について、どのようにお感じですか？



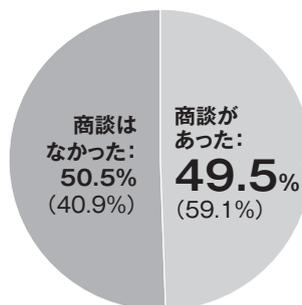
## 5. 新規顧客獲得に繋がりましたか？ ※



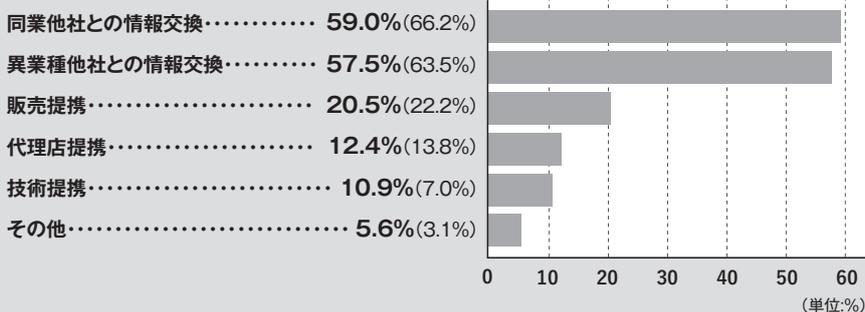
## 6. 次回FOOMA JAPAN 2025へ出展しますか？ ※



Q. 出展社間の商談はありましたか？



### 商談があった【複数回答】

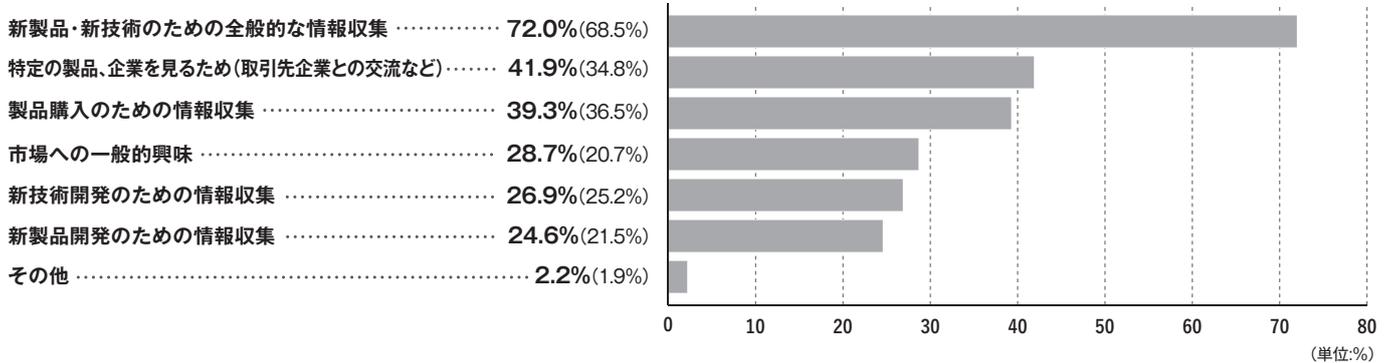


# 9. 来場者アンケート調査結果

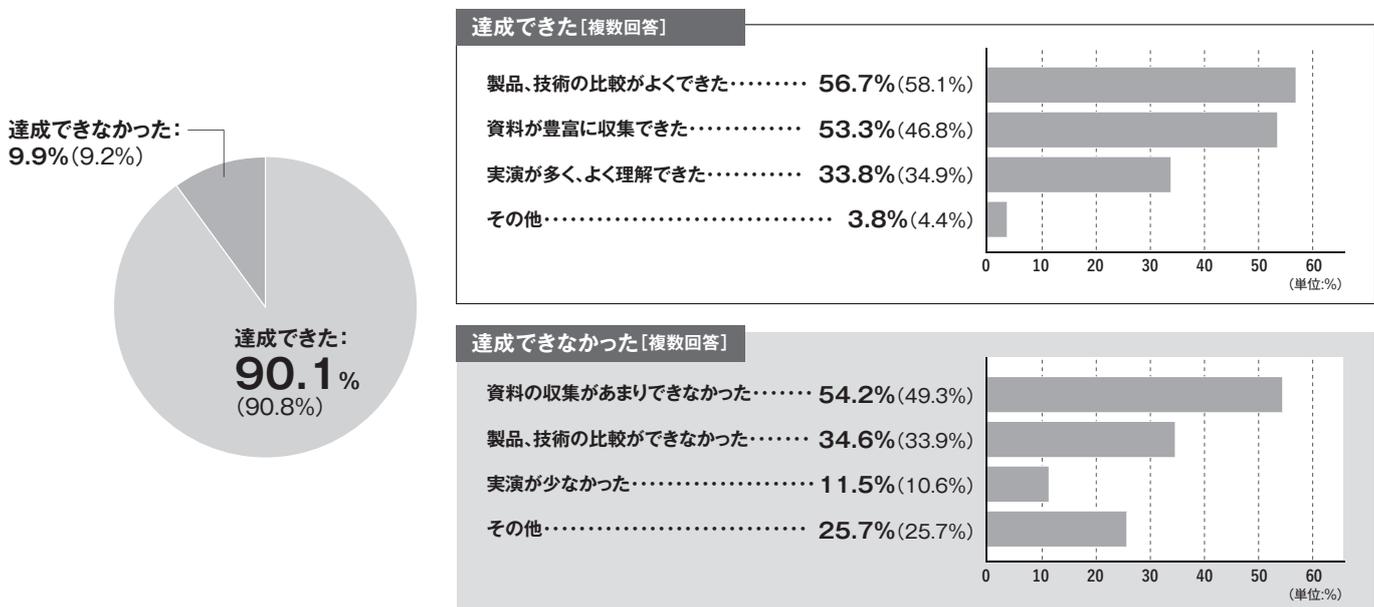
( )内は前回数値  
※新規項目

**調査概要** 【調査日】…6/5(水)~6/21(金) 【回収数】…3,862名

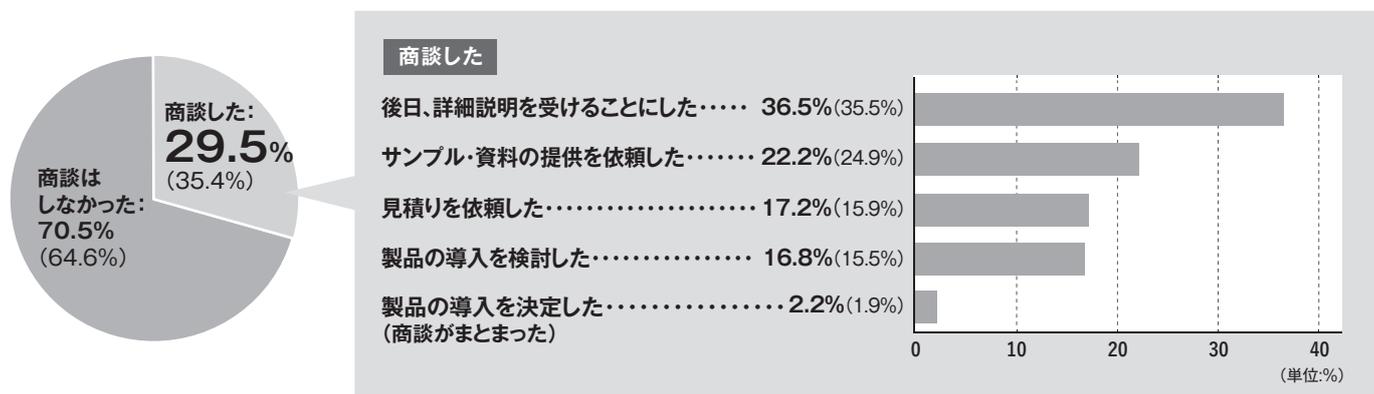
**Q.** 今回の来場の目的をお聞かせください。【複数回答】



**Q.** 来場の目的は達成できましたか?

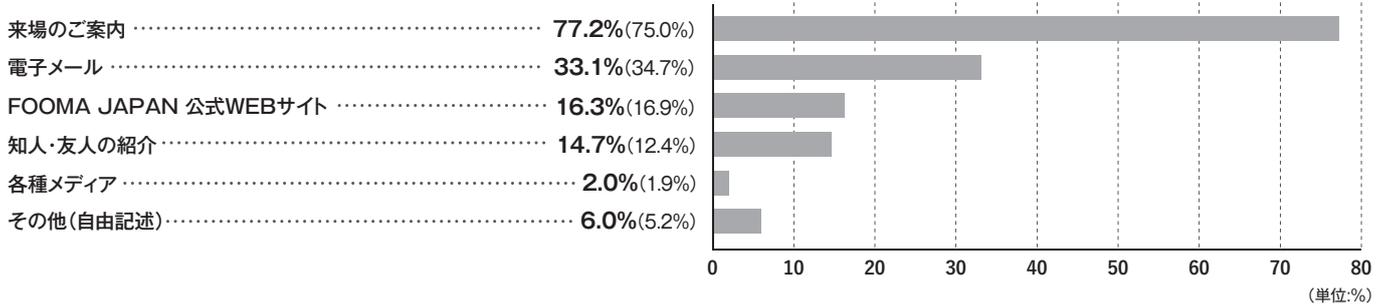


**Q.** 今回、会場で商談をしましたか?

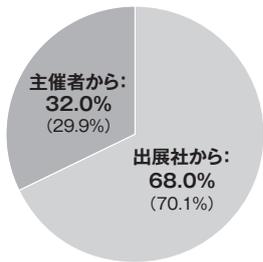


# 9. 来場者アンケート調査結果

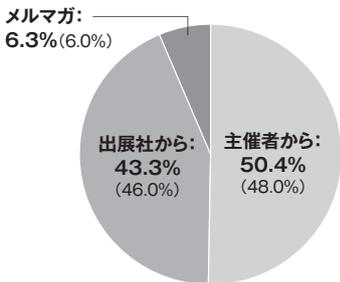
Q. 今回のFOOMA JAPANを何でお知りになりましたか？ [複数回答]



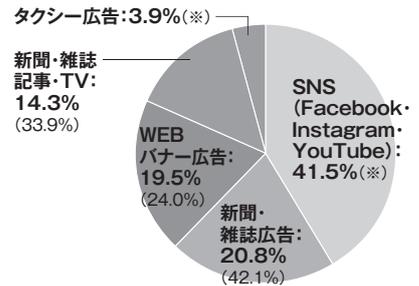
## 来場のご案内



## 電子メール

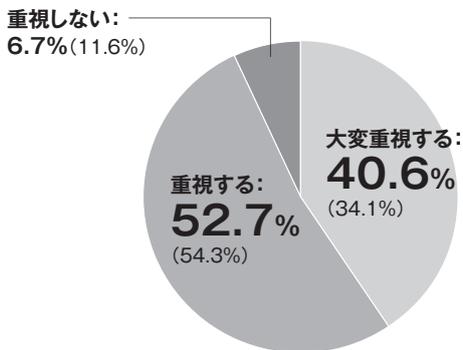


## 各種メディア

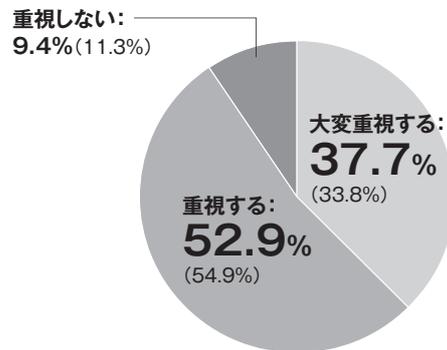


Q. 出展社に対して、どのようなことを重視していますか？

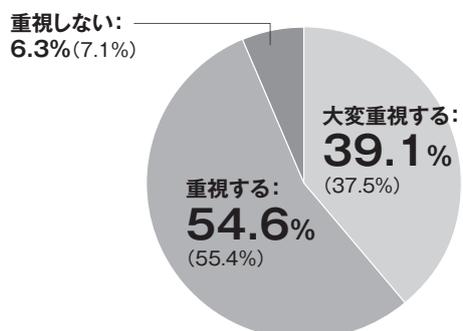
### 1. 展示機械・製品の品揃えが豊富である



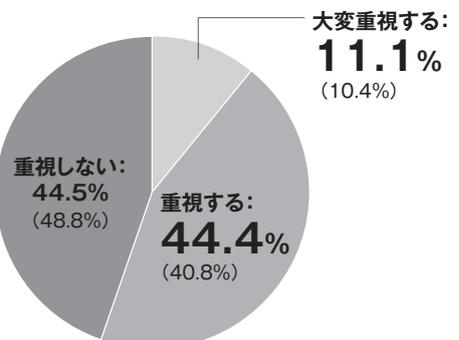
### 2. 詳細な資料・カタログが用意されている



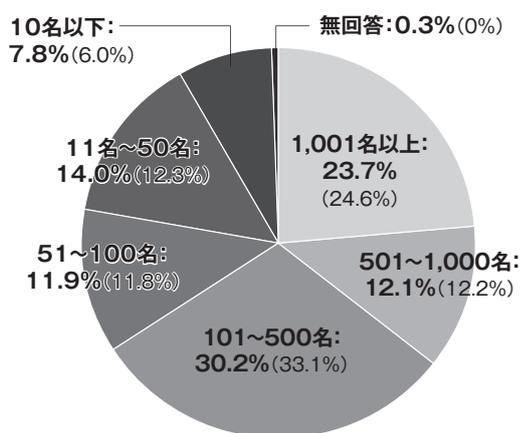
### 3. 実演やデモンストレーションがあり、わかりやすい



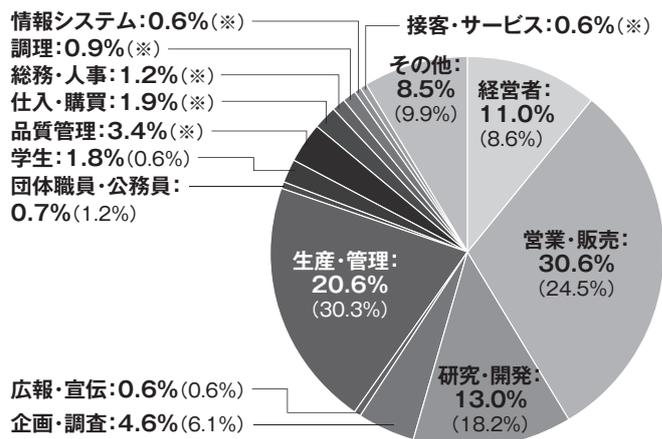
### 4. 商談できる体制機能が整っている



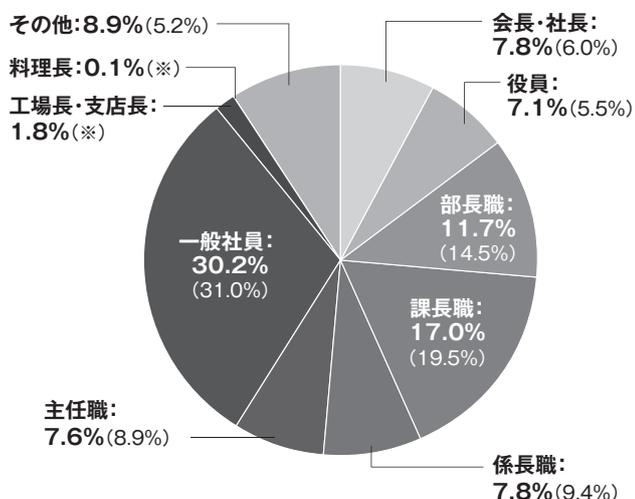
Q. あなたの勤務先の従業員数をお聞かせください。



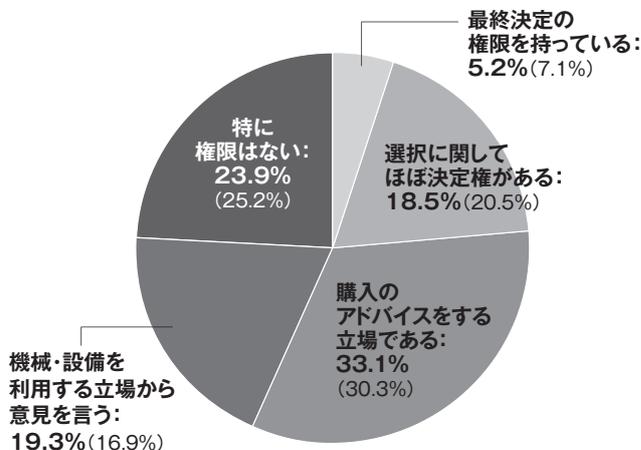
Q. あなたの職種をお聞かせください。



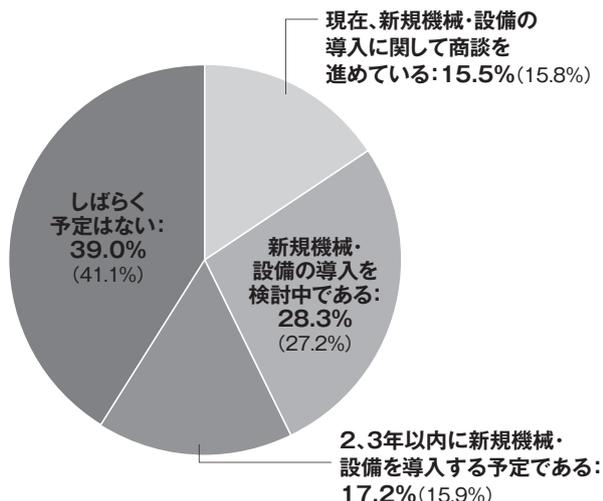
Q. あなたの役職をお聞かせください。



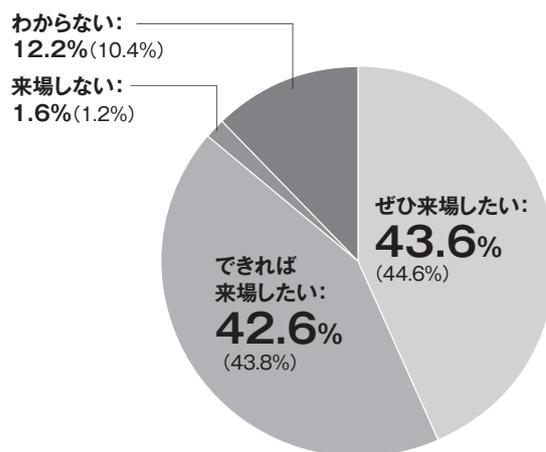
Q. 機械・設備の購入に関して、あなたの立場をお聞かせください。



Q. あなたの会社における機械・設備導入の状況をお聞かせください。



Q. 来年のFOOMA JAPAN 2025にも来場しますか？



# 10.プロモーション活動

出展社の出展成果を高めるために、積極的な来場促進活動を実施。本年より海外からの来場促進活動にも力を注いだ。

## ① 公式WEBサイト

2024年4月1日(月)より来場事前登録が開始。来場促進・出展社情報提供サイトとして日本語・英語・中国語の3カ国語で公開。出展社への問い合わせや製品カタログダウンロード機能、製品動画の公開だけでなく、本年より新たに出展各社によるSDGsの取り組みや輸出可能国の情報提供を行った。その他に来場者の利便性向上のため、「来場者マイページ」機能の強化を行い、セミナー聴講登録や出展社との情報交換、製品カタログなどの情報集約が行えるようになっただけでなく、FOOMAアプリと連携し「アプリマップ登録」機能を追加した。リアルとオンラインがシームレスにつながり、来場者と出展社のビジネスマッチングの促進を図った。



2023年9月1日～  
2024年6月7日

アクセス数  
延べ**883,219**件

◀ 公式WEBサイト 日本語版

## ② YouTubeチャンネル新規開始 FOOMA JAPAN ch.

YouTubeチャンネル“FOOMA JAPAN ch.”をリニューアルして新規開設。動画プロモーションのコンタクトポイントとして稼働。



食品機械実演、記者発表会、プロモーション、会期中の会場風景や展示製品等の各動画を公開。4月から会期終了までの視聴数は約536,000回。

## ③ 動画プロモーション実施

国内外からの来場促進活動として、動画プロモーションを新規に実施。



DO YOU KNOW FOOMA? のメッセージで、FOOMA JAPANの知名度を高めていく活動を、特に海外を中心に展開。メディアやSNS広告、タクシー広告で動画を露出。海外で35万回、国内は13万回と高い視聴数を得た。

## ④ メールマガジン

国内外の過去来場者と新規事前登録者にメールマガジンで出展製品情報やセミナー情報、スタートアップゾーン特集号などを配信し、公式WEBサイトへ誘導。国内向けに12回、海外向けに7回配信。

総配信数 延べ**2,403,967**通

読者数(国内外) **245,369**人

	国内	海外
配信数内訳	2,353,643	50,324

## ⑤ ダイレクトメール

出展社がお客様へ配布する開催案内ツールを全出展社に提供。印刷版とデジタル版を用意。また主催者自身の集客策として関係諸団体・機関および主要業界関係者、ベンチャー、スタートアップ関連団体や全国の食品製造業企業、国内外合計約24,000通送付。

## ⑥ FOOMAニュースBOX

出展社自身がメディアに製品情報のプレスリリースを自動的に届けることができるメディアマッチングプラットフォームを開設。36社43件の製品情報ニュースリリースをメディアに届けた。

## ⑦ 記者発表会

4月にメディア記者を対象に記者発表会を第一ホテル東京で開催。主催者挨拶、第3回FOOMAアワードの最優秀賞ノミネート製品の発表を始め、全出展社名の紹介、展示会の特徴および概要を発表。また、FOOMA JAPANならではの特別企画として、スタートアップゾーン出展社3社によるプレビューと製品展示コーナーを開設。

日時 2024年4月3日(水)  
会場 第一ホテル東京 5階  
ラ・ローズⅡ

プログラム	<b>【主催者挨拶】</b> FOOMA JAPAN 2024 展示会実行委員会 委員長 南 常之
	<b>【第3回FOOMAアワード2024最優秀賞ノミネート製品発表】</b> 一般社団法人 日本食品機械工業会 専務理事 谷澤 俊彦
	<b>【2024開催概要説明】</b>
	<b>【スタートアップゾーン出展社プレビュー】</b> 株式会社Thinker 代表取締役CEO 藤本 弘道氏 株式会社AlgaleX 代表取締役 高田 大地氏 Byte Bites株式会社 代表 若杉 亮介氏
	<b>【スタートアップゾーン出展社製品展示・個別取材タイム】</b>



### ⑧ 国内メディア掲載

FOOMA JAPAN 2024の出展社・製品情報、セミナー情報、併催事業情報など、FOOMA JAPANの魅力を様々なメディアに掲載。出展募集受付開始時期、記者発表会実施後、会期前・中・後の3期にわたり関連記事をメディアへ掲載した。

	新聞・専門誌・雑誌	WEBメディア
9月出展募集時期	8	34
4月記者発表会以降	37	75
6月会期前・中・後	61	75

産経新聞	日刊水産経済新聞	毎日新聞電子版
東京新聞	週刊食肉通信	日本経済新聞電子版
中部経済新聞	フードニュース	日刊工業新聞電子版
FINANCIAL TIMES	商経アドバイス	日本食糧新聞電子版
週刊新潮	包装タイムス	Yahoo!ニュース Japan
日経MJ	ゴム報知新聞	LINE NEWS
日刊工業新聞	空調タイムス	Excite エキサイト
日本食糧新聞	月刊低温流通	@niftyビジネス
食品産業新聞	月刊フードケミカル	Infoseekニュース
パンニュース	オートメーション新聞	Biglobe ニュース
菓子食品新聞	農機新聞	@DIME
みなと新聞	農村ニュース	フードエンジニアリングニュース他

### ⑨ TV放映

TV局の取材誘致活動を実施。産業経済の新潮流を切り口に全局のニュース系番組が取材・放映。

No	放送日	番組名	局名
1	6/4	FNN Live news	フジテレビ
2	6/4	イット!	フジテレビ
3	6/4	大木容子ワイド!	テレビ朝日
4	6/4	ニュースウォッチ	NHK
5	6/4	午後LIVE ニュースーン	NHK
6	6/4	首都圏ネットワーク	NHK
7	6/4	Nスタ	TBSテレビ
8	6/4	ひるおび	TBSテレビ
9	6/4	WBS	テレビ東京
10	6/5	めざましテレビ	フジテレビ
11	6/5	NHKニュース おはよう日本	NHK
12	6/5	ZIP!	日本テレビ
13	6/5	Nスタ	TBSテレビ
14	6/7	Day Day.	日本テレビ
15	6/19	THE TIME	TBSテレビ
16	6/22	ニュースαプラス	フジテレビ
17	6/23	サンデーステーション	テレビ朝日
18	7/9	10万円のできるかな	テレビ朝日

### ⑩ 広告宣伝

来場者層読者の多い新聞・専門誌および新聞、電子版WEBメディア等に広告を出稿。また、海外向け開催告知として海外の専門メディアにも広告を掲載。

	新聞	専門誌・雑誌	WEBメディア
国内	23	10	4

日経MJ	週刊水産新聞	Beverage Japan
日刊工業新聞	冷凍食品新聞	食品工場長
日本食糧新聞	冷食タイムス	月刊食品機械装置
食品新聞	空調タイムス	日本食品工学会誌
食品産業新聞	熱産業経済新聞	FOOMA技術ジャーナル
日本パン・菓子新聞	包装タイムス	機関誌ふーま
菓子食品新聞	ゴム化学新聞	日刊工業新聞電子版
パンニュース	ゴム産業ニュース	日本食糧新聞電子版
麺業新聞	月刊製菓製パン	フードエンジニアリングニュース
商経アドバイス	食品と開発	環境新聞WEBサイト 他
みなと新聞	月刊フードケミカル	
週刊食肉通信	月刊ソイフードジャーナル	

海外 媒体名	ALL WORLD EXHIBITION DIRECTORY (台湾) FOOD & BEVERAGE (シンガポール) FOOD FOCUS THAILAND (タイ) FOODREVIEW INDONESIA (インドネシア) www.21food.com (中国) ASIA FOOD JOURNAL (シンガポール)
-----------	---

### ⑪ 海外PR

動画プロモーションと連動して、約500の海外主要メディアに開催情報についてのニュースリリースを2回配信。海外メディアの記者も取材に来場。会場や出展社・製品の取材のほか、主催者へのインタビューも行われた。



# 11. 出展社一覽 (社名50音順、※印は共同出展)

- あ**
- ARK
  - アーシェルジャパン
  - アールティ
  - アイエスジャパン
  - ※CMT
  - ifm efector
  - IoT mobile
  - アイカ工業
  - 愛工舎製作所
  - アイコアルファ
  - アイタ
  - 愛知電機
  - ※HCl
  - 愛知電熱
  - アイ・ティ・エス
  - ※アンパレックスジャパン
  - IDEC
  - IPGフォトリクスジャパン
  - AIHO
  - アイリス・ファインプロダクツ
  - アオスフィールド
  - 青葉化成
  - 赤武エンジニアリング
  - 赤門ワイレックス
  - アグリマート
  - 朝日化成
  - あさひ企画
  - アサヒ技研
  - 旭金属
  - ※旭プレシジョン
  - アサヒ産業
  - アサヒ装設
  - 麻布精機製作所
  - 味の素エンジニアリング
  - アスカインデックス
  - アステックエンジニアリング
  - アストラ
  - ASTRA FOOD PLAN
  - ASPIA JAPAN
  - アゼット
  - アタコ
  - アトミクス
  - アトラステクノサービス
  - アトリエケー
  - Anamorphosis Networks
  - アブコス
  - アブソン
  - アマギ
  - アムンゼン
  - アメフレック
  - 荒井鉄工所
  - 荒川製作所
  - アラハタフードマシン
  - アラム
  - アラリード
  - 有光工業
  - AlgaleX
  - アルス
  - アルドリスト
  - アルファ・プラス
  - アルファ・ロイヤル
  - アルマーク
  - 安西製作所
  - アンリツ
  - EGG
  - 飯島電子工業
  - 飯田製作所
  - イーデーエム
  - イカリ消毒
  - いけうち
  - 池田機械工業
  - インダ
  - ※日新電子工業
  - インダテック
  - イズミフードマシナリ
  - ※住友重機械搬送システム
  - ※住友重機械エンバイロメント
  - ※住友重機械ファインテック
  - 板橋工業
  - 伊藤工機
  - 伊藤忠マシンテクノス
  - 井戸冷機工業
  - イナモク
  - 茨木精機
  - IPCO
  - イマオコーポレーション
  - いまばやし
  - ※ジョンソンボイラ
  - 岩井機械工業
  - イワキ
  - イワセ鉄工
  - 岩谷産業
  - 岩月機械製作所
  - イントラロック
  - ヴェイ・エス・テクノロジー
  - ウール
  - ウインクレル
  - ※Gerhard Schubert
  - ウエスト
  - WOOJUNG BAKEWARE
  - ukka
  - エイコーフィルター
- H.Eファーム  
HMSインダストリアル  
ネットワークス  
エイテツ  
HYC  
エイブル  
※ヤンマーエネルギーシステム  
イー・アンド・ティ  
イー・エム・プロダクツ  
エーシンバック工業  
エースシステム  
エーピーシー商会  
エクシール  
江口種機製作所  
エコノス・ジャパン  
※静甲  
※日本機械商事
- SMC  
エスエムテ  
S・K・I  
エスケー化研  
SDG  
Edgecrossコンソーシアム  
※ソフトウェア・イー・ジー  
※日本電技  
※日立コンサルティング  
※プレインズテクノロジー  
※三菱電機  
※リコーインダストリアル  
ソリューションズ  
※HPCシステムズ  
※オムロン  
※サトー
- エニマス  
NSKエンジニアリング  
NOKクリューパー  
NTTビジネスソリューションズ  
エヌテック  
NPC  
エヌワイビー  
荏原製作所  
※荏原冷熱システム  
エフ・エム・アイ  
FYH  
エマー自動車  
江真トレーディング  
エム・アンド・イー  
※ユアサ商事  
エムエスティ  
MMP  
エム・エルエンジニアリング  
M2X  
エムテートリマツ  
エム・テクノロジーズ  
エム・Mill Powder Tech  
Solutions  
※FBR ELPO  
※Steriflow  
※Chiorino
- エムラ販売  
エラフジャパン  
エルフォルグ  
Lプロム  
エレボン化工機  
エンザイム  
逸藤商事  
オオイ金属  
オーエム機械  
OMC  
※サンワテクノス  
大川原製作所  
オークラ輸送機  
大阪ガスリキッド  
大阪シーリング印刷  
大阪タイユー  
大竹種機  
大西冷熱  
大野ナイフ製作所  
大進産業  
大宮高圧  
大森機械工業  
小片鉄工  
小川コンベヤ  
オクイ  
奥谷金網製作所  
オサ機械  
※ゼネラルパッカー  
※三和プラス  
押尾産業  
オンキリ  
オツカ工業  
小野商事  
オブテックス・エフエー  
オムニヨシダ  
オムロン フィールド  
エンジニアリング  
オリヒロ  
オンデマンド研究所
- か**
- ガードナー
  - 貝印刃物
  - 鍵庄
  - 鹿島化学金属
- カジワラ  
カジワラキッチンサプライ  
春日電機  
KAZEN WLD  
片岡製作所  
型久堂  
兼松KGGK  
鎌田機械製作所  
蒲田工業  
※蒲田エンジニアリング  
カミナシ  
上根精機工業  
川口精機  
川島製作所  
川島鉄工所  
川瀬製作所  
※エーユーイー研究所  
カワタ  
川西  
環境機器  
※ベストビジョンソリューションズ  
環境テクニクス  
関西機械  
関東混合機工業  
カンター  
カンプライト  
キーンエス  
機械振興協会 技術研究所  
※旭製菓  
※ボールスタア  
※キソー工業  
※デンソーウェーブ  
※ハイメックス  
※前田技術士経営研究所  
※神奈川県立産業技術  
総合研究所  
※月星食品  
菊水製作所  
紀州技研工業  
機設  
キソー工業  
北沢産業  
北四国グラビア印刷  
北村製作所  
キッチンテクノ  
木原製作所  
キムラシール  
キャディ  
キャニオン  
キャリオン  
CAN EAT  
久電舎  
共栄エンジニアリング  
共信冷熱  
協栄商事  
※みずすコーポレーション  
KyoDo  
京町産業車輛  
京未来  
※Hestia Robotics  
共立物流システム  
共立プラント工業  
共和  
協和工業  
協和ステンレス  
協和電機  
キョーワ  
キョーワクリーン  
旭光電機  
清本鉄工  
桐山工業  
キリンエンジニアリング  
クイック・ロック・ジャパン  
クオンクropp  
国立  
クボタ  
クメタ製作所  
グリーンエア・スカンジナビア  
グリーンプラス  
グリーンレーザージャパン  
クレオ  
グローエンジニアリング  
Closer  
グローバルコード  
GEA ジャパン  
※ユーロ・ジャパンマシナリー  
経営創研  
ケイエルプラント  
※森本組  
ケイズベルテック  
KE・OSマシナリー  
ケツト科学研究所  
ケミカル山本  
ケルヒヤー ジャパン  
研電社  
光研  
光伸舎  
興南設計  
光陽機械製作所  
ゴールドウイン  
コーレンス  
※エレア  
※バルター  
※ルン
- ※エンウェーブ  
※レパテック  
※ビービーエム  
※インコメック  
※ウザーマック  
コーンズ テクノロジー  
コガサン  
コグネックス  
コジマ技研工業  
KOSKA  
コトヒラ工業  
コネクテッドロボティクス  
コバード  
小花製作所  
コパロック  
コマジャパン  
コマック  
コマツ製作所  
小嶺機械  
コメットカトウ  
コル  
コンテックフォーユー  
※インテック  
コンバム
- さ**
- サーヴォ
  - サーブテクノロジ
  - ※Libelte
  - サイエナジー
  - 蔵玉産業
  - 坂井機械製作所
  - 佐々木プラント
  - サタケ
  - 佐藤計量器製作所
  - 佐藤工業
  - サトー
  - サニー・トレーディング
  - さぬき種機
  - ※さぬき種機東京販売
  - サマック
  - サミニ
  - サムソン
  - 三協
  - 三協リアル
  - 三共冷熱
  - 三幸機械
  - 三光機械
  - 三光製作所
  - サンシン
  - サンステーションシステムズ
  - サンテツ技研
  - サンナイス
  - 三能ジャパン食品器具
  - サン・プラント工業
  - 三宝産業
  - 三丸機械工業
  - 三友機器
  - 三友工業
  - 三洋グアビア
  - 山洋電気
  - 三立機器
  - サンロード
  - 三和建設
  - ※三共空調
  - 三和工機
  - 三和厨理工業
  - 三和ハイドロテック
  - CSAグループジャパン
  - シー・エス・シー
  - ※日本エスケイエフ
  - GS1 Japan  
(流通システム開発センター)
  - ※オムロン
  - C.M.システムズ
  - CCC
  - CKD
  - シートス
  - ※シートスアール
  - シービーエム
  - シール栄登
  - シール工業
  - シールドエアージャパン
  - JFEテクニカル
  - JMCP
  - J-CIRCULARS
  - JTG
  - ジェイビーネクスト
  - ジェビック
  - 四国化工機
  - システムスクエア
  - 七洋製作所
  - Sydecas
  - 品川工業所
  - 凝谷工業
  - ※カイジョー
  - ※シンプヤ精機
  - 清水建設
  - ジャパンエコテック
  - ジャパンシステム
  - ※エムケー精工
  - ショウワ
  - 昭和化工
  - 昭和システムサービス
- 昭和フェニクス工業  
食品施設計画研究所  
※キューケン  
※クオードコーポレーション  
※クレオ  
※シー・エム・エス  
※日軽パネルシステム  
※ニコクソフト  
※富士電機ITソリューション  
※ユニフロー  
※ヒューコン  
※東京システムリサーチ  
※横河システム建築  
※今泉テント  
シルバーソン ニッポン  
シロキコーポレーション  
Thinker  
SINKPIA・JAPAN  
新盛インダストリーズ  
シンセメック  
新宅工業  
新東工業  
新日本ウエックス  
シンメイ  
スガツネ工業  
スギコ産業  
※杉山工業  
スコットプランニング  
スズキ機工  
鈴木製作所  
スズキ種工  
鈴木器工  
鈴木工業  
鈴木ソリューションズ  
鈴木精機  
ストラバック  
スバイスキューブ  
スプレーイングシステム  
ジャパン  
スマシヨク  
住商グローバル  
ロジスティクス  
住商モンブラン  
スリーハイ  
成光産業  
※NESSCO India  
生産日本社  
精電舎電子工業  
西部技研  
セムコーポレーション  
ゼロイチゼロ  
ソーキナカタ  
※三共技研  
ソニフィック  
ソニービズネットワークス
- た**
- 第一工業
  - 第一包装機製作所
  - 大栄 THA
  - タイガーカワシマ
  - Daigasエナジー
  - ※大阪ガス
  - タイキ
  - 大紀産業
  - 大喜産業
  - タイキン工業
  - ※タイキンアプライドシステムズ
  - ※日本無機
  - 大成建設
  - 大成ファインケミカル
  - 大成ラミック
  - 大同メタル工業
  - ダイナコムウェア
  - タイムマシナー
  - 大有
  - 大洋アレスコ
  - 太陽化学
  - 太陽誘電ケミカル
  - テクノロジ
  - 大和ハウス工業
  - ダイワ販売
  - ※アルファ・ラバル
  - 高井製作所
  - タカギ冷機
  - 高砂
  - 高千穂精機
  - 多賀電気
  - タカハシ
  - タカハシガリレイ
  - 高橋バルト
  - タカミ
  - タカラ
  - 滝川工業
  - タキゲン製造
  - 匠技研
  - 竹内食品機械
  - たけびし
  - ※B&R
  - ※ジェイ・シー・シー
  - ※武蔵エンジニアリング
  - ※クボ
  - ※TDIプロダクトソリューション

※スキノマシン  
 ※Rist  
 立花エレクトック  
 タテックス  
 田中機工  
 タニコ  
 谷沢東機工業  
 タブフロ  
 玉シロー  
 千葉工業所  
 中央理化  
 中興ベルト  
 中設エンジ  
 中部機械刃物  
 中部テクノ  
 中部包装食品機械工業会  
 彫刻プラス  
 チョコマシヤパン  
 千代田金属工業  
 千代田交易  
 TSUNG HSING FOOD  
 MACHINERY  
 ツカコム  
 ツカサ工業  
 塚本鎮吉商店  
 ツネザワ商事  
 椿本興業  
 椿本チエイ  
 ※ツバキ山久チエイ  
 ※椿本メイフラン  
 THK  
 ティーピーエム  
 TBグローバル  
 テクノロジーズ  
 テイエスケイテック  
 テイエルピー  
 帝人フロンティア  
 ※帝健  
 テイステイ  
 デイブレック  
 データデザイン  
 DATAFLUCT  
 テクニカ  
 テクニカン  
 テクノクラシー  
 テクノシステム  
 テクノ・パークシャー  
 テクノリサーチ  
 テスコム  
 テックサス  
 TECHMAGIC  
 TESSHA  
 Tebiki  
 寺岡精工  
 寺田製作所  
 テラダ・トレーディング  
 テラモト・エンジニアリング  
 テンチ産業  
 東亜交易  
 東亜工業  
 ※伸和食品  
 東京計装  
 東京施設工業  
 東京自働機械製作所  
 東光計器  
 東芝ライテック  
 東製  
 東陽機械製作所  
 東洋スクリーン工業  
 東洋ハイテック  
 東洋リントフリー  
 東レ  
 トーステ  
 TOSEI  
 トーサー工業  
 トーヨー  
 トーヨーパッケン  
 徳尾商事  
 ※双日マシナリー  
 徳寿工作所  
 徳永製作所  
 戸倉商事  
 DOT&LINE  
 トパック  
 トミー精工  
 トムラソーティング  
 巴工業  
 豊工  
 トヨックス  
 トラスト・テクノロジ  
 トリーエンジニアリング  
 トリニティーラボ  
 ドリマックス  
 トルネックス  
 ※フマキラー・トータルシステム  
 な  
 ナオミ  
 直本工業  
 中井機械工業  
 ナカキン  
 ※オーエ又工業  
 長沢機械製作所  
 長瀬産業

ナカテック  
 中西製作所  
 長沼製作所  
 ※ASTINA  
 中村商店  
 中村製粉  
 ※ハナオカ  
 ナカヤ工業  
 NACOL  
 (旧:日本アキュムレータ)  
 NASCO  
 七島屋エンジニアリング  
 鍋屋ハイテック会社  
 奈良機械製作所  
 ナラサキ産業  
 南海精工所  
 なんつね  
 ※ヘラスバイスジャパン  
 ナンバ  
 新潟総合紙器  
 二樹エレクトロニクス  
 ニクニ  
 西田  
 西原製作所  
 ※シーエンス  
 西村機械製作所  
 日伝  
 日仏商事  
 二チモウ  
 ※大英技研  
 ※イーシステム  
 ※ナカガフMT  
 ※ピアン  
 ※ソーエ  
 ※タツノ  
 ※タダシ製作所  
 ※アトミクス  
 ※第一包装機  
 ニッカ電測  
 日工  
 ニッコー  
 日清エンジニアリング  
 ※NBCメッシュテック  
 日進ゴム  
 ニッタ  
 日東イシダ  
 日東工器  
 ニップンエンジニアリング  
 日本ジッコウ  
 ※JERコンクリート補修協会の  
 日本製紙クレシア  
 日本プッシュ  
 日本エアーテック  
 日本エイ・ウィー・シー  
 日本環境科学研究所  
 日本技建  
 日本キャリア工業  
 日本計測システム  
 日本施設  
 日本自働精機  
 日本食糧新聞社  
 日本製衡所  
 日本製パン製菓機械工業会  
 日本TNA  
 日本テクノロジ  
 ソリューション  
 日本テトラパック  
 日本動熱機製作所  
 日本熱源システム  
 日本ハイコム  
 日本ビスコ  
 日本ビュビ  
 日本フィルトレーション  
 グループ  
 日本フレハブ冷熱  
 日本プロト  
 日本包装機械工業会  
 日本包装リース  
 日本ポリスター  
 日本マグネティック  
 ニューズダイジェスト社  
 ニューマインド  
 ネクサス  
 ※厨房市場  
 ノードン  
 ノブタ農機  
 のむら産業  
 ノリタケカンパニーリミテド  
 は  
 バーテック  
 ハーマン・ウルトラソニック・  
 ジャパン  
 ハイエレコン  
 バイオニア風力機  
 ※サン・エンジニアリング  
 ハイテック  
 Byte Bites  
 パウレック  
 ※グリコ栄養食品  
 ハクラ精機  
 橋田機工  
 パシフィックソーワ  
 ※大平洋特殊鑄造

パシフィック洋行  
 橋本クロス  
 長谷川化学工業  
 ハセッパ―技研  
 PACRAFT  
 服部工業  
 服部製作所  
 ハナカタ  
 花木工業  
 花塚製作所  
 ハバジツ日本  
 ハヤシレビック  
 原田産業 (大阪)  
 原田産業 (埼玉)  
 バンカードエンタープライズ  
 バンドウイット  
 コーポレーション  
 バンドー化学  
 ※バンドー・I・C・S  
 ハンマーキャスター  
 ビーエム昌和  
 ビーエムティー  
 ビオニーコーポレーション  
 ビオメンテナンス  
 ヒガンモトキカイ  
 日阪製作所  
 ※日阪プロダクツ  
 ※小松川化工機  
 徹酸研  
 日立産機システム  
 ※日立プラントサービス  
 ※日立産業制御ソリューションズ  
 ※日立グローバルライフ  
 ソリューションズ  
 日立造船  
 VideoStep  
 ビュアテック  
 ヒューエンズ  
 ビュルケルトジャパン  
 平井カンパニー  
 平野製作所  
 平山製作所  
 ファインテック  
 Found Four  
 ※Energy Pulse Systems  
 ※D C Norris  
 ※FEA process &  
 technological plants  
 ※oxytec  
 ※RF Systems  
 ※Coctio  
 ※AYRTAC  
 ※URESH  
 ファグ・コーポレーション  
 ファクシム  
 ファナック  
 フレスタ販売  
 FingerVision  
 フォルボ・ジークリング・  
 ジャパン  
 フクザワ・オーダー農機  
 フクシマガリレイ  
 ※ガリレイパネルクリエイ  
 ※ショウケンガリレイ  
 ※日本洗淨機  
 フクチ産業  
 フクビ化学工業  
 フジ  
 フジイ機械製作所  
 富士インパルス  
 フジキカイ  
 フジキン  
 フジクリーン工業  
 フジサワ・マルゼン  
 ※マルゼン  
 フジシステム  
 富士島工機  
 不二商会  
 不二精機  
 富士製作所  
 藤田デバイス  
 フジトク  
 ※ベンテア スドモ  
 フジマック  
 フジヤマパックスシステム  
 不二レーベル  
 フジワラテクノアート  
 不双産業  
 ※友和産業  
 フタバ  
 伏虎金属工業  
 フツバ  
 プライミクス  
 PRIME  
 プラザインダストリアル  
 プリンティング  
 プラスワンテック  
 フリアーシステムズジャパン  
 プリチストン  
 古川機工  
 古河工業  
 古川製作所  
 ※ハイパックス  
 ※シンワ機械

フルタ電機  
 プレイン  
 VRAIN Solution  
 FLEXCO  
 フレスコ・システム・ジャパン  
 フレンドマイクロ  
 フロンティアエンジニアリング  
 粉研パウテックス  
 フンシジャパン  
 兵神装備  
 平和リーシング  
 ※錫物屋  
 ヘラマンタイト  
 宝田工業  
 ホーコス  
 ボールウェーブ  
 ホクエツ (神奈川)  
 ホクエツ (新潟)  
 ホシザキ  
 細田工業  
 ホボロプラント  
 堀場アドバンスドテクノ  
 ホワイテックス  
 本州リウム  
 ※ライオンハイジーン  
 ※アイエンス  
 ※マルチバック・ジャパン  
 ま  
 マーケム・イマージュ  
 マイコック産業  
 マイスター  
 マイセック  
 マウンテック  
 ※上野エンジニアリング  
 前川製作所  
 前田シエルサービス  
 前田商店  
 植野産業  
 マクニカ  
 ※アナログ・デバイセス  
 マグネテックジャパン  
 正城機械  
 ※コトフキペーキングマシン  
 増幸産業  
 マスターマインド  
 マスダック  
 マスタニテック  
 マゼラー  
 松田機械工業  
 松山丸三  
 マトヤ技研工業  
 真鍋工業  
 丸井工業  
 マルカ  
 ※アルプラス  
 ※管製作所  
 ※安西製作所  
 丸五  
 丸善  
 丸善化工  
 丸八  
 丸紅エレネクト  
 ※アイコテック  
 マルホ発條工業  
 マルヤス機械  
 三浦工業  
 三木フーリ  
 ※東京メータ  
 ミクロ電子  
 三鈴工機  
 三鈴工業  
 三橋製作所  
 三菱ケミカル  
 エンジニアリング  
 三菱重工冷熱  
 ※三菱重工業  
 ※三菱ロジスネクスト  
 ※三菱重工交通・  
 建設エンジニアリング  
 ※三菱重工パワー環境  
 ソリューション  
 三菱電機  
 ※三菱電機冷熱プラント  
 三星工業  
 三ツ星ベルト  
 美津和産業  
 ミドリ安全  
 ミナミ産業  
 ミネベアインテック  
 ミヤウキ  
 ミューテック35  
 武蔵エンジニアリング  
 ムラコ  
 村田精工  
 マルチバック・ジャパン  
 ムンターズ  
 明起商会  
 明治機械  
 ※近江度量衡  
 ※不二輸送機工業  
 メイワ  
 明和工業  
 メカナイス

メスナージャパン  
 モキ製作所  
 MONOVATE  
 森川フードマシン  
 森下機械製作所  
 モレーンコーポレーション  
 や  
 矢崎化工  
 矢島精工  
 ※大倉製作所  
 ※坂井工業  
 安川電機  
 ヤスタファインテ  
 安原環境テクノロジ  
 ヤナギヤ  
 山崎金属産業  
 山崎産業  
 山善  
 山田製作所  
 大和製衡  
 大和製作所  
 山本ビニター  
 ヤンマーホールディングス  
 ユーキ  
 ユーシン精機  
 油研  
 豊製作所  
 ユニオンミカー  
 ユニコントロールズ  
 ユニテール  
 ユニバーサル工業  
 ユニバーサル・  
 フードマシン  
 ユニバーサルロボット  
 ユニバック  
 ※ユニバックシール  
 ユニバルス  
 ユニフィード  
 エンジニアリング  
 Unifiller Japan  
 ユメールMJ  
 横崎製作所  
 横浜油脂工業  
 ※若林工業  
 吉泉産業  
 吉川工業  
 ※アイバック  
 ※八洲産業  
 ヨンダキカイ  
 ヨシタケ  
 米田工機  
 ら  
 ライオンハイジーン  
 ライボルト  
 ラスカム  
 ラディクス  
 ランズワーク  
 理化学工業  
 Regnio  
 リッケン  
 ※朝日加工  
 ※マルティールボンブ  
 コンサルタント  
 ※サーモテック  
 リバット  
 ※アイ・エス  
 リモートロボティクス  
 リングトレーディング  
 ルーツ機械研究所  
 ※きた産業  
 ルーツ貿易  
 レオン自動機  
 ※ホシノ天然酵母パン種  
 レグミン  
 レッドアンドイエロー  
 レフォルモ  
 ローゼック  
 LOZI  
 ロビット  
 わ  
 ワークソリューション  
 ワールド工業  
 ワールド精機  
 ワコウ  
 ワコーバレット  
 和田技研  
 渡辺工業所  
 渡辺精機  
 ワタナベフード  
 ソリューション  
 ワタナベフーマック  
 ※小野食品機械  
 ※秋山機械  
 ワム・システム・デザイン  
 【主催者企画】学会  
 日本食品工学会  
 農業施設学会  
 農業食料工学会



# FOOMA JAPAN 2024 REPORT



# 次回の ご案内

—— 世界最大級の食品製造総合展 ——

**6/10** 火 **13** 金 **10:00**  
**17:00**

主催：一般社団法人 日本食品機械工業会

東京ビッグサイト 東1～8ホール

お問い合わせ先

FOOMA JAPAN 運営事務局 〒108-0023 東京都港区芝浦3-19-20 ふーまビル3F  
TEL: 03-6809-3745 FAX: 03-6809-3746 Email: info@foomajapan.jp

<https://www.foomajapan.jp/>